

岡山市中区区づくり推進事業
令和6年度事業助成申込書

	事業名	ページ
(1期分)		
広域交流部門	第27回百間川ふれあいフェスティバル	1～
広域交流部門	たかしま音楽祭・2024	10～
身近な交流部門	操明学区「桜祭り」	18～
身近な交流部門	三世代交流ふれ合いフェスタうの2024	26～
身近な交流部門	財田ふれあい夏祭り	35～
身近な交流部門	第20回富山文化まつり	43～
身近な交流部門	平井まつり“2024”	50～
身近な交流部門	三勲学区ふれあい事業 (夏・秋・冬の四世代ふれあいフェスティバル)	57～
地域活動部門	地域づくり会議の運営と事業展開	64～
地域活動部門	旭竜助け合い隊推進事業	72～
地域活動部門	きょくりゅう地域みんなの居場所づくり	78～



岡山市区づくり推進事業助成申込書 (広域交流部門)

令和 6 年 1 月 10 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ 団体名 百間川ふれあいフェスティバル実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者 職・氏名 実行委員長 西崎 和良

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第27回百間川ふれあいフェスティバル
事業実施区域 (小学校区)	宇野・旭竜・高島・幡多・財田・竜之口・三敷学区
① 地域の特色	<p>※地域の自然・歴史・文化・現状などから、地域の特色、地域課題などについて具体的に記入してください。次の「②事業の目的」、事業の実施効果につながるものとなるよう留意してください。</p> <p>★歴史的経過がある「百間川」をテーマとしています。 地域住民との交流、百間川とのふれあい、歴史的役割の認識、地域防災意識の向上、治水・利水・環境等河川管理の重要性等を来場者に知ってもらいます。 地域らしさをアピールするために、このフェスティバルを通じて、百間川の素晴らしさ、役割や重要性をさらに深め、「百間川」が岡山市民の身近な憩いの場・地域連帯の場・行政と民間との協働の場とすることによって地域性を向上させていきたい。</p>

② 事業の目的	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 ㊦ 防災 ㊧ 環境 エ 支え合い ㊨ 健康 ㊩ 自然等 キ 特産物等 ㊪ 人・歴史・文化等 ケ その他																
※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、地域にとって、どのような効果を生むか(期待できるか)や地域課題がどのように解決できるかなどといったことを記入してください。																		
<p>百間川ふれあいフェスティバルを通じて地域との連帯感を醸成するだけでなく地域の発展と自然環境に対する認識、百間川の歴史・役割などを市民の皆さんに知っていただくことにより河川管理の大切さ、河川が果たす治水・利水についての理解を深めると同時に環境美化運動・ゴミ減量化運動など行政と地域が協働して、まちづくりに取り組まなければならない姿を啓発し市民づくりに貢献したいと考えています。過去25回にわたり実施した「百間川ふれあいフェスティバル」は、百間川の歴史的な経緯・役割などの理解を深めること及び地域との連帯感・一体感を醸成するだけでなく、環境保全・地域の活性化による地域の発展・青少年健全育成等初期の目的を果たせつつあるといえます。</p>																		
事業開始年月 新規・ 継続 27 回目(指定 年度から) 【事業開始年度平成 10 年】																		
③ 事業の内容																		
<p>27 回目は、次のテーマで実施する予定です。</p> <p>百間川の自然と歴史と役割を知ろう、百間川の自然と環境を守ろう 育もう豊かな心を、楽しもう河川広場で 防災意識の向上に努めよう</p> <p>ごみの問題ですが、ポートボール・グランドゴルフ・軟式野球・ソフトボール大会・テニス大会終了後には参加選手全員で使用した会場ならびにその周りを清掃します。環境問題の啓発にもなります。ボランティアスタッフとして近隣の中学校、高校の生徒を募集します。その仕事内容としては、花の種配布・カヌー体験・水辺の教室・行政ブース・会場内スタンプラリーなどの手伝いを考えています。青少年健全育成に役立ちます。</p>																		
<p>第 27 回百間川ふれあいフェスティバル</p> <p>○開催日時:令和 6 年 4 月 21 日(日曜日) 9 時 00 分 ~ 15 時 00 分 雨天時:小雨決行、中止 延期: 4 月 28 日金曜日 9 時 00 分 ~ 15 時 00 分)</p> <p>○開催場所:岡山市中区東川原地先 百間川ワイワイ広場</p> <p>第 27 回百間川ふれあいフェスティバル ファジアーノサッカー教室</p> <p>○開催日時:令和 6 年 8 月 30 日(土) ○開催場所:百間川サッカーラクビー場</p> <p>※実施する事業の内容・方法・対象などについて、具体的に記入してください。</p> <p>○事業内容</p> <p>1. 百間川の自然と歴史と役割を知ろう</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 国土交通省岡山河川事務所(歴史と役割)</td> <td>パネル展示等</td> </tr> <tr> <td>(2) 岡山県古代吉備文化財センター(歴史)</td> <td>百間川埋蔵文化財展示</td> </tr> <tr> <td>(3) 岡山淡水魚研究会(自然)</td> <td>百間川に生息している魚や虫を水槽展示</td> </tr> <tr> <td>(4) 水辺教室(自然)</td> <td>川に入る体験を通じて百間川の環境を知る</td> </tr> <tr> <td>(5) 防災への啓発活動</td> <td>取組紹介等</td> </tr> </table> <p>2. 百間川の自然と環境を守ろう</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 岡山市環境保全課(環境)</td> <td>環境問題に関する啓発パネル展示</td> </tr> <tr> <td>(2) 水辺教室(自然・環境)</td> <td>川に入る体験を通じて自然を守る</td> </tr> <tr> <td>(3) カヌー体験</td> <td>川に入る体験を通じて自然を守る</td> </tr> </table>			(1) 国土交通省岡山河川事務所(歴史と役割)	パネル展示等	(2) 岡山県古代吉備文化財センター(歴史)	百間川埋蔵文化財展示	(3) 岡山淡水魚研究会(自然)	百間川に生息している魚や虫を水槽展示	(4) 水辺教室(自然)	川に入る体験を通じて百間川の環境を知る	(5) 防災への啓発活動	取組紹介等	(1) 岡山市環境保全課(環境)	環境問題に関する啓発パネル展示	(2) 水辺教室(自然・環境)	川に入る体験を通じて自然を守る	(3) カヌー体験	川に入る体験を通じて自然を守る
(1) 国土交通省岡山河川事務所(歴史と役割)	パネル展示等																	
(2) 岡山県古代吉備文化財センター(歴史)	百間川埋蔵文化財展示																	
(3) 岡山淡水魚研究会(自然)	百間川に生息している魚や虫を水槽展示																	
(4) 水辺教室(自然)	川に入る体験を通じて百間川の環境を知る																	
(5) 防災への啓発活動	取組紹介等																	
(1) 岡山市環境保全課(環境)	環境問題に関する啓発パネル展示																	
(2) 水辺教室(自然・環境)	川に入る体験を通じて自然を守る																	
(3) カヌー体験	川に入る体験を通じて自然を守る																	

(4) 高齢者グランドゴルフ・学童ポートボールなどの大会参加者で会場とその周りを清掃

3. 育もう豊かな心を

(1) 近隣の中学校・高校のボランティアスタッフを募集し事業などの手伝いをしてもらう

4. 楽しもう河川広場で

(1) 宇野小学校児童による吹奏楽演奏(宇野学区)

(2) 操山中学校生徒による吹奏楽演奏(宇野、三勲学区)

(3) チアリーディングの披露 (IPU環太平洋大学)

(4) 太鼓の演奏(宇野学区)

(5) 学童ポートボール大会(宇野、旭竜、幡多学区)

(6) グランドゴルフ大会 競技終了後、希望者に対し、競技を指導
(宇野、旭竜、高島、幡多、竜之口、財田、三勲学区)

(7) 少年ソフトボール大会(宇野、旭竜、高島学区)

(8) 少年軟式野球大会(宇野、旭竜、高島学区)

(9) テニス大会

(10) ファジアーノ少年サッカー教室

その他の取組

(1) 自衛隊岡山地方協力本部

(2) 岡山市消防局

(3) 岡山市都市整備局公園緑地部緑化推進課

(4) 岡山市公園協会

④ 事業の実施

○企画などの工夫、事業の見直し

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、

例えば、「地域ならではの視点や発想、地域の特色等を活かすための工夫」、「地域住民等の参画や参加を促すための工夫」、「事業の目的を達成するための工夫」などについて、具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、前年度の反省事項や区づくり推進事業審査会からの助言・コメントを踏まえての取り組み、見直しなどを具体的に記入してください。

令和5年2月25日審査会の意見に対する取り組み

・イベント会場でごみを出さないような配慮をしていただきたいです。例えば、入口で来場者に持ち帰り用のごみ袋を渡す等の取り組みを行うことで、スタッフも助かるのではないかと思います。

※小学校区内対象の限られた施設の中でのイベントであれば対応可能であると思われませんが、他学区を含めての開かれた4000人規模でのイベントでは後の対応(クレーム処理)が取りにくいと思われます。今後の課題としてほかのイベントを参考にしながら検討します。

ただ現在は、出店業者で購入した食べ物などのごみは出店業者に返却するように場内放送を徹底しゴミ箱は設置しておりません。この対策は第17回目より実施していますが出店業者からのクレーム等は今までありません。

・飲食を伴う場合、食中毒を補償の対象とした保険の加入を検討してはいかがでしょうか。

※そのような保険があるかどうかを調べてみます。

・使用料について、業者からレンタルしているところは金額が突出しています。机・椅子等は各学区内の町内会から持ち寄せれば、学区内のコミュニケーションも取れ、経費も抑えられると思えます。

※一度実施しましたがけれどテントの部品が少なかったり椅子テーブルが混ざったりで後の処理が大変でした。椅子テーブルをテープで色分けするなどの方法を検討します。

・地域の中学生、高校生が参加するという点で、地元を知るきっかけ、愛着の向上につながりそうで良いと思えます。地域内の異世代交流も期待できて良いです。情報公開の方法も多く計画されており良いです。

※PRが下手なのでカラー媒体などを使用して目立つ方法をとっていきたい。

・予算が令和元年度よりも高く計上している根拠を教えてください。

※カヌー教室開催費用(約24万円)が新たな経費として計上されています。又値上がりも影響していると思えます。見積を複数取るなどして対応できるところから削減につとめていきたい。

・地域防災の意識向上がどこから促されるのか、よく読み取れなかったのを教えてください。

※3年間全体のフェスティバルを開催していなかったのが欠落してました。次回から企画会議にて提案していきます。

・新しい取り組みとして川魚・昆虫・水質等の生態調査も加えて展開してはどうでしょうか。

※川魚、川に生息する昆虫は事前にとったりして水辺の教師でしています。水質検査は以前していましたが時系列でないと駄目なので難しいです。でも一回限りでの調査でよければ検討してみます。

令和5年5月20日開催の審査会開催の事後評価及び意見に対する取り組み

・コロナや天候などの影響がある中で、計画実施に対して検討、努力をされたと思えます。

・百間川という歴史的な場所でのイベントで、埋蔵文化財の展示や淡水魚の観察など効果的であると思えます。

・委員の高齢化が指摘されていますが百間川に近い大学との連携活動も今後期待しています。

※高齢化が進んでいると思われますので若い身近な学生たちの意見も取り入れて進めていき

たい。

・印刷製本費とカヌー教室委託料が突出しているためもう少し削減するなど、費用の点について見直しが必要ではないでしょうか。

※3年間空白が開いていたため値上がりを考慮しなかった部分があった。事前に見積もりをとり必要性があまりないものをカットするなりして経費削減に努めたい。

・カヌー教室の中で、自然環境に対する認識を深めるためにどのような取り組みをされましたか。
※自然に触れてただ楽しむだけでなく川の中に捨ててある物を後で報告してもらったようにした。

カヌー教室終了後メンバーでそのゴミを回収し分別廃棄した。

時流にあったまた予算のかからない若い人の意見を取り入れた新しい企画を考えて、また収入の上がりにくい時節あまり皆に負担のかからないような運営体制を構築し、かつマンネリ化しないように今後の組織も含めて運営していきたい。

○その他 PR したい点

※その他 PR したい点があれば記入してください。

この百間川ふれあいフェスティバルを通じて、行政課題の一つでもある

- ① 地域の活性化
- ② 環境問題
- ③ 環境保全
- ④ 青少年の健全育成
- ⑤ 高齢者の生きがいづくり
- ⑥ 危機管理意識の向上
- ⑦ 百間川スポーツ広場の活用
- ⑧ 防災問題

などの視点を取り入れたフェスティバルにしたいと考えている。

来場予定者(見込み)数	5,000人
-------------	--------

⑤ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けてください。

- I チラシを作成配布、
 II HPに掲載、
 III 市の広報紙に掲載、
 IV TV、ラジオで公開、
 V その他()

新聞・情報誌等への
 問合せ先の情報に
 ついて

紹介することに同意する 紹介不要
 問合せ先名(百間川ふれあいフェスティバル実行委員会)
 連絡先 (XXXXXXXXXX)

⑥ 事業スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
企画会議 ※1	随時	随時	随時									
準備・会議 ※2	随時	随時	随時	18 ～ 20 日								
当 日				21 日				30 日				
反省会議等					10 日				6 日			
監査・報告会										4 日		

※1 4月以前からの企画会議があれば、記入してください。

第1回目：令和5年12月4日
 第2回目：令和5年12月11日
 第3回目：以後必要に応じて開催予定

※2 4月以前からの準備・会議があれば、日付と内容を具体的に記入してください。

令和5年12月4日 内容(開催予定日を調整)
 令和5年12月11日 内容(開催日を決定)
 令和5年12月18日 内容(部会の配置つくああを決め以後部会を開催し詳細を詰めることに決定)

※3 来年度以降の予定

可能な限り継続していく予定です。

⑦ 事業運営への参加状況

事業運営への参加予定団体等	参加予定人数
宇野学区連合町内会	20
旭竜学区連合町内会	4
高島学区連合町内会	4
幡多学区連合町内会	4
財田学区連合町内会	4
竜之口学区連合町内会	4
三勲学区連合町内会	4
岡山市消防団宇野分団	14
宇野学区体育協会	20
宇野学区婦人会	2
宇野学区交通安全対策協議会	2
宇野学区子ども会育成連絡協議会	6
宇野学区交通安全母の会	2
宇野地区愛育委員会	2
宇野学区老人クラブ連合会	2
宇野学区コミュニティー協議会	4
旭竜学区子ども会育成連絡協議会	2
岡山せとうちライオンズクラブ	14
計	18団体 114人

⑧ 事業実施メンバー

	申込団体での 役職	氏 名	住 所	年齢	備 考
1	大会会長				宇野学区連合町内会会長
2	副会長				旭竜学区連合町内会会長
3	〃				高島学区連合町内会会長
4	〃				幡多学区連合町内会会長
5	〃				財田学区連合町内会会長
6	〃				竜之口学区連合町内会会長
7	〃				三敷学区連合町内会会長
8	〃				宇野学区コミュニティー協議会会長
9	〃				岡山市消防団宇野分団分団長
10	〃				宇野学区交通安全対策協議会会長
11	〃				宇野学区婦人会会長
12	〃				宇野学区スポーツ協会会長
13	〃				宇野学区交通安全母の会会長
14	〃				宇野学区子ども会育成連絡協議会会長
15	〃				宇野学区愛育委員会会長
16	〃				宇野学区老人クラブ連合会会長
17	〃				宇野小学校 PTA 会長
18	〃				岡山せとうちライオンズクラブ
19	実行委員長				宇野学区
20	副実行委員長				宇野学区
21	総務部会				宇野学区
22	〃				幡多学区
23	〃				岡山せとうちライオンズクラブ
24	〃				富山学区
25	企画部会				幡多学区
26	〃				三敷学区
27	〃				三敷学区
28	〃				幡多学区
29	〃				宇野学区
30	〃				高島学区
31	会場・出店部会				三敷学区
32	〃				幡多学区
33	〃				幡多学区
34	〃				宇野学区
35	〃				旭竜学区
36	〃				幡多学区
37	〃				高島学区
38	〃				平井学区

⑨ 収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	990,000	1,100,000	
協賛金	0		協賛金
負担金	389,800	390,000	店舗出店料
広告料	713,900	710,000	広告代
寄附金、他収入	24,621		寄付金その他
収入合計	2,118,321	2,200,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	100,617	130,000	コピー用紙、文具、封筒代他
②食糧費	177,100	156,000	事業当日の役員弁当、会議用飲料昼食飲料等
③印刷製本費	381,128	420,000	パンフレット印刷、チラシ印刷角デザイン料等
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	102,081	150,000	切手、送料、電話FAX代等
⑦広告料		30,000	フェス出店者等募集代
⑧手数料	275	5,000	ホームページ更新料等
⑨使用料	787,881	760,000	設備、施設、レンタル代等
⑩原材料費	17,250	15,000	展示パネル代等
⑪委託料	454,500	460,000	カヌー教室、会場交通整理等
⑫工事請負費			
⑬報償費	73,979	50,000	出演料等
⑭保険料	23,510	24,000	イベント傷害保険
小計(①)	2,118,321	2,200,000	
⑮新型コロナウイルス 感染防止対策経費		/	
小計(②)	0	0	
支出合計(①+②)	2,118,321	2,200,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを

(希望する) ・ 希望しない

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

初期段階から経費の支払いが発生するため

○ 内容欄へは使用用途等を記入してください。

○ 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業助成申込書 (広域交流部門)

令和6年1月17日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ 団体名 : たかしまおんがくさいじつこういんかい 高島音楽祭実行委員会

所在地 :

連絡先 :

フリガナ 代表者氏名 : 会長 福田 洋 司

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	たかしま音楽祭・2024	
事業実施区域 (小学校区)	高島学区・旭竜学区	
① 地域の特徴	<p>(1) 豊かな自然と歴史のある地域 高島・旭竜学区は、周辺部に旭川、百間川、北に竜の口山を擁し、豊かな自然環境に恵まれ、多くの歴史的遺産も有し、文化の香り高い地域である。特に当地域は百間川の源流部にあたり、そこには「せせらぎ広場」という広場があり、4月初めには、広場沿いに「金平桜」が咲き誇り、年間を通して、保幼小の子どもたちが、遊びや学習のために訪れ、また多くの市民の憩いの場となっている。</p> <p>(2) 福祉のまち旭竜と躍動するまち高島 旭竜学区は、高齢化率が高く、このため福祉事業に熱心で「福祉のまち旭竜」と言われている。他方、高島学区は宅地化が進展し、若い人が多く移り住み、躍動するまちとして、小学校、中学校を中心として、音楽、スポーツ活動が盛んである。</p>	
② 事業の目的	該当事業項目に○を(複数可)	ア 防犯 イ 防災 ウ 環境 エ 支え合い オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史 ク 文化等 ケ その他
(1) 小さな子供からお年寄りまで幅広く、野外で春の日差しを浴びながら、音楽を通じて親睦・交流を図る。 (2) 小学生・中学生の時から、地域のボランティア活動に触れながら、豊かな心を育て、やがては次世代の実施メンバーへと育てる。そのきっかけとなるイベントにしたい。 (3) 末永く続く音楽祭として、地域に定着させたい。		
事業開始年度	継続 第8回目(指定平成28年度から)【事業開始年度 平成27年度】	

③ 事業内容

○開催日時：2024年5月25日(土曜日)11時00分～16時00分

雨天時：小雨決行、中止、延期：月 日 曜日 時 分 ～ 時 分)

○開催場所：百間川せせらぎ広場（岡山市中区今在家地先<岡山市中消防署南側>）

○事業内容 開催行事

- (1) 岡山市消防音楽隊の演奏
- (2) ギター演奏・弾き語り（流しのSIVAちゃん）
- (3) バンド演奏（フォーメーション）
- (4) うらじゃ演舞（俄嘉屋）
- (5) 和太鼓演奏（和太鼓）
- (6) 高島公民館講座クラブ・○○○○○○○
- (7) 高島小学校吹奏楽部の演奏
- (8) 岡山市立高島中学校吹奏楽部の演奏
- (9) 私立就実高等学校吹奏楽部の演奏

◇ 出店は、令和5年度同様に食べ物6店（焼きそば、クレープ、飲み物、ポップコーン、山菜おこわ他）と子ども向け遊びの出店2店とする予定（計8店）。

④事業の実施

○ 企画などの工夫、事業のみなおし

- (1) 百間川のパネル展実施・・・1つのブースを設けて、来場者に百間川の歴史と現状を知ってもらおう。
- (2) 楽器の保護対策・・・ステージの後背部がグラウンドなので、楽器が砂ぼこりをかぶる恐れがある。このため、楽器がいたまないように、ステージの3方を幕で覆う。
- (3) 障がい者に優しいイベント・・・障がい者専任の学生ボランティアを2名配置する。車の誘導、車椅子での会場案内を担当する。
- (4) 雨天の中での開催・・・通常の雨なら、雨天でも規模を小さくして開催する。

○ その他PRしたい点

- (1) 末永く続く音楽祭とする。
- (2) 音楽という文化と百間川という大自然の融合
- (3) 地域の素人音楽家、高等学校の吹奏楽部の日ごろの成果発表の場の提供

来場予定者（見込み）数

1,500人

⑤ 事業の情報公開

該当するもの全てに○を付けてください。

- ① チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、③ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、
 ⑤ その他(高島公民館だより、山陽新聞に掲載)

新聞・情報誌等への問い合わせ先
 の情報について

紹介することに同意する 紹介不要

問合せ先名 (高島音楽祭実行委員会)

連絡先 (事務局長 嶋村 稔 XXXXXXXXXX)

⑥ 事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画会議 ※1									23日			上旬
準備会議 ※2	中旬	上旬									上旬	
当日		25日										
反省会議等			中旬									
監査・報告会				中旬								

※1 4月以前からの企画会議があれば、記入してください。

第1回実行委員会：令和5年12月23日（令和6年度の計画、区づくり推進事業申込書案の協議）

第1回執行部役員会議：令和6年2月上旬（ポスター・チラシ案、協賛金集金の協議予定）

※2 4月以前からの準備・会議があれば、日付と内容を具体的に記入してください。

第2回実行委員会：令和6年3月上旬（プログラムや各事務分担の確認）

※3 来年度以降の予定

※ 基本的には同様の内容で開催する。

⑦ 事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等		参加人数(人)
1	国府市場東町町内会	2
2	祇園上町内会	2
3	祇園下町内会	2
4	中の里町内会	2
5	段原町内	2
6	山浦町内会	2
7	中井町内会	2
8	雄町町内会	1
9	祇園山手町内会	1
10	今在家町内会	2
11	藤の里町内会	1
12	国府市場町内会	2
13	国府市場出村町内会	2
14	高島学区民生委員・児童委員協議会	1
15	祇園下子ども会	2
16	高島学区体育協会	2
17	高島公民館	1
18	中島町内会	2
19	八幡町内会	2
20	高島二丁目西町内会	1
21	高島二丁目東町内会	1
22	八幡東町町内会	1
23	高島公務員住宅自治会	1
24	旭竜小学校 PTA	1
25	旭竜学区民生委員・児童委員協議会	1
26	旭竜地区社会福祉協議会	1
27	旭竜学区体育協会	1
28	旭竜学区環境衛生協議会	1
29	旭竜学区老人クラブ連合会	1
30	岡山市消防団宇野分団	1
31	社会福祉法人 昭友会	2
32	社会福祉法人 金曜会(わくわく祇園'S)	2
33	NPO法人 まんなか	2
	計	33団体 50人

⑧ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考（加入団体 等）
1	会 長 (事務局長)				国府市場東町内会
2	副会長				祇園上町内会
3	副会長				段原町内会
4	” (会計)				祇園下町内会
5	”				八幡町内会
6	実行委員				今在家町内会
7	”				藤の里町内会
8	”				湯迫町内会
9	”				祇園山手町内会
10	”				山浦町内会
11	”				高島地区民生委員・ 児童委員協議会
12	”				祇園下町内会
13	”				”
14	”				国府市場町内会
15	”				国府市場東町内 会
16	”				国府市場町内会
17	”				祇園下町内会
18	”				”
19	”				”
20	”				雄町町内会
21	”				中井町内会
22	”				雄町町内会
23	”				岡山市消防団高 島分団
24	”				中島町内会

25	・〃		高島二丁目西町内会
26	〃		高島二丁目東町内会
27	〃		八幡東町町内会
28	〃		高島公務員住宅自治会
29	〃		旭竜小学校PTA
30	〃		旭竜地区民生委員・児童委員協議会
31	〃		旭竜学区体育協会
32	〃		旭竜学区環境衛生協議会
33	〃		旭竜学区老人クラブ連合会
34	〃		岡山市消防団宇野分団
35	〃		八幡町内会
36	〃		中島町内会
37	〃		(社福) 昭友会
38	〃		(医法) たくふう会
39	協力団体		祇園下子ども会
40	〃		〃
41	〃		〃
42	〃		(社福) 金曜会
43	〃		(NPO法人) まんなか

⑨ 収支予算書

◆ 収 入

単位：円

項 目	前年度算額	今年度予算額	備 考
岡山市補助金	529,100	629,000	
協賛金	146,000	146,000	連合町内会・単位町内会
負担金	0	0	
広告料	383,000	483,000	企業・団体
寄付	177	0	寄付金
その他収入	0	0	
合 計	1,058,277	1,258,000	

◆ 支 出

単位：円

項 目	前年度算額	今年度予算額	内 容(必ず記載して下さい)
①消耗品費	25,442	50,000	トイレットペーパー (5,000 円)、白線引き機 (1 台・8,000 円)、ブルーシート (3 枚・6,900 円)、ラベルシート (2,200 円)、大型封筒 (200 枚・2,000 円)、プリンターインク (4,000 円)、白線パウダー (900 円)、コピー用紙 (2,000 円)、ポリ袋 (2,000 円)、ノボリ旗 (10 本・17,000 円)
②食糧費	28,930	30,000	会議用お茶代 (25 人×4 回・10,000 円)、スタッフ弁当代 (50 人・15,000 円)、当日のスタッフお茶代 (50 人・5,000 円)
③印刷製本費	144,939	120,000	チラシ (17,000 枚・45,000 円)、ポスター印刷 (300 枚・75,000 円)
④燃料費	755	0	草刈り機の燃料費
⑤通信運搬費	16,972	30,000	切手代 (チラシ郵送・会議案内・30,000 円)
⑥手数料	4,950	5,000	銀行振込手数料 (5,000 円)
⑦使用料	553,800	600,000	トイレリース代 (64,000 円)、発電機使用料 (20,000 円)、音響設備使用料 (30,000 円)、テント・イス・掲示板リース代 (321,000 円) 楽器運搬費 A (2 台・66,000 円)、楽器運搬費 B (1 台・44,000 円)、生徒輸送バス (1 台・55,000 円)
⑧原材料費	0	10,000	角杭 (15 本・4,000 円)、トラロープ (50m・1,500 円)、その他 (4,500 円)
⑨委託料	111,100	200,000	警備委託料 (2 名・33,000 円)、草刈り委託料 (2 回・110,000 円)、草の処理委託 (2 回・50,000 円)、看板作成 (7,000 円)
⑩報償費	168,320	210,000	高島小学校・高島中学校・就実高校中学校 (70,000 円)、出演者謝礼 (4 団体 3 名・140,000 円)
⑪保険料	3,069	3,000	ボランティア保険料 (3,000 円)
小 計 (①)	1,058,277	1,258,000	
⑫新型コロナウイルス感染症防止対策費	0	/	

小 計 (②)	0	0	
支出合計 (①+②)	1,058,277	1,258,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。

補助金(3/4)の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する	・	<input type="radio"/> 希望しない
----------------	---------------------------------------	---	-----------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

令和6年度上半期の事業運営費が不足するため。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(身近な交流部門)

令和 6年 1月18日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ そうめいがつくさくらなみきじっこういんかい
団体名 操明学区桜並木実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ じっこういんちよう いけだ ゆたか
代表者 職・氏名 実行委員長 池田 裕

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	操明学区「桜祭り」	
事業実施区域 (小学校区)	操明小学校区	
① 地域の特色	<p>※地域の自然・歴史・文化・現状などから、地域の特色、地域課題などについて具体的に記入してください。次の「②事業の目的」、事業の実施効果につながっていくものとなるよう留意してください。</p> <p>操明学区は東に百間川、西に旭川、南に児島湾と面しており、3方が水に囲まれた地域である。この地域は江戸時代の干拓によって生まれており、歴史も浅く、歴史的建造物や文化遺産は明治時代以降のものしかないのが現状である。</p> <p>地域の社会資本として、また自然遺産として植樹された桜並木を通して、学区の一体感や自然愛護精神を広めていきたい。</p>	
② 事業の目的	<p>該当事業項目に○を(複数可)</p>	<p>ア 防犯 イ 防災 <input checked="" type="checkbox"/>ウ 環境 <input checked="" type="checkbox"/>エ 支え合い オ 健康 <input checked="" type="checkbox"/>カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 ケ その他</p>
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、地域にとって、どのような効果を生むか(期待できるか)や地域課題がどのように解決できるかなどといったことを記入してください。</p> <p>学区内の百間川西岸土手に21年前に完成した桜並木は、岡山市の桜の名所として定着しつつある。この桜並木を学区の財産として大切に育て、更に啓蒙を広める目的で実施されてきた「桜祭り」も、コロナウィルス感染症の拡大等で中止になった年もあるが、今年で22回目の実施となり、学区をあげた事業として欠かせられないものとなってきている。</p> <p>また、連合町内会・各種団体・PTA・スポーツ少年団・かがやきクラブ・福祉施設まで、学区内のほとんど全ての団体に参加・協力をいただいていることで、学区全体の連帯感・一体感を高めることにつながると期待している。</p>		
事業開始年月	新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 22回目(指定 年度から) 【事業開始年度 H15年】	

③ 事業の内容

○開催日時:令和 6年 4月 7日(日曜日) 10時 0分 ~ 15時 0分
雨天時:(小雨決行、中止(延期) 4月 14日 日曜日 10時 0分 ~)

○開催場所:岡山ふれあいセンター(岡山市桑野) 芝生広場及び軽スポーツ広場

○事業内容

※実施する事業の内容・方法・対象などについて、具体的に記入してください。

① 桜並木及び桜祭りの写真展(1 か月ほど前よりふれあいセンター内のプロムナードで実施予定)

② 「桜の樹にみんなで花を咲かせましょう」コーナー

(大きな桜の樹にメッセージを書いた花びらをみんなに書いて貼り付けてもらいます。)

③ 小学生によるポスターコーナー(様々な桜の絵が楽しめます。)

④ レクリエーション(ゲーム・昔遊び・グラウンドゴルフ)コーナー

⑤ ステージ(吹奏楽・大正琴・太鼓・大型紙芝居・ベリーダンス等)

⑥ 飲食及び展示テント(各種団体・JA・学区内協力企業・岡山県ボート連盟)

⑦ スタンプラリー(会場内、桜並木の見学場所等をクイズを解きながら訪れてもらいます。)

会場・ステージ・ゲームコーナー・スポーツコーナーの各々が連結し、ふれあいセンター内や桜並木見学場所も含め、スタンプラリー等で全てのエリアの踏破を楽しく目指してもらいたいと思っています。

学区外で依頼をしている団体はほとんどなく、ほぼ学区内団体のみで運営している。テントの飲食コーナーなどは、自主運営で、本部が関与しないでも各団体に責任をもって行ってもらっている。

④ 事業の実施

○企画などの工夫、事業の見直し

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、

例えば、「地域ならではの視点や発想、地域の特色等を活かすための工夫」、「地域住民等の参画や参加を促すための工夫」、「事業の目的を達成するための工夫」などについて、具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、前年度の反省事項や区づくり推進事業審査会からの助言・コメントを踏まえての取り組み、見直しなどを具体的に記入してください。

桜並木及び昨年度の桜祭りの様子を写真展として掲示する。同写真パネルを岡山ふれあいセンター内のプロムナードに、桜祭り実施1か月前から掲示し桜祭りの事前案内を行う。

最近、日本各地で発生している豪雨による甚大な被害は、干拓地である当学区も他人事ではない。国土交通省と連携し、水害や地震等による液状化被害についてのパネル展示を行う予定である。

また、食糧費(比率)が高いというご指摘を受けたので、小学生のポスター作製の際にお渡ししている食券の費用等を食糧費ではなく報償費として計上していくようにしている。

ゴミ袋を全員に配布したらというご指摘をいただいたが、今年度は飲食を扱うテント全てにゴミ箱を設置する予定である。

飲食テントの待ち時間が長く、他のテントに行く時間がなかったというご指摘を受けたので、各テント毎に番号札を用意し、待っている間に他のテントに移動できるようにしたい。

○その他 PR したい点

※その他 PR したい点があれば記入してください。

学区をあげての協力・支援体制が出来ている点をPRしたい。また、今年度より岡山市ふれあい公社も共催に加わり、操明学区連合町内会・操明学区桜並木実行委員会との3者共催となった。

そして、将来的には桜の里親を中心とした「里親会(仮称)」を立ち上げ、環境の整備・美化を担当する「環境衛生協議会」との2団体主催事業(連合町内会及び岡山市ふれあい公社は共催か後援)として永続実施が可能な体制を整えたい。

ステージは学区内の住民が所属する団体のみで実施する予定である。

来場予定者(見込み)数	6,500人
-------------	--------

⑤ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けてください。

- I チラシを作成配布、
 II HPに掲載、
 III 市の広報紙に掲載、
 IV TV、ラジオで公開、
 V その他(月間プラザ等に掲載・告知。)

新聞・情報誌等への
問合せ先の情報につ
いて

紹介することに同意する 紹介不要

問合せ先名(操明学区桜並木実行委員会、実行委員長、池田 裕)

連絡先(XXXXXXXXXX)

⑥ 事業スケジュール

	申 請 年 度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画会議 ※1												
準備・会議 ※2		20										
当 日	7											
反省会議等	14											
監査・報告会												

※1 4月以前からの企画会議があれば、記入してください。

第1回目:	5年	11月	25日	(出店・ステージ参加依頼)
第2回目:	6年	1月	20日	(出店・ステージ参加締め切り)
第3回目:	6年	1月	21日	(岡山市提出申込書内容確認)
第4回目:	6年	2月	15日	(全参加団体内容確認説明会)
第5回目:	6年	3月	15日	(貸出備品等の具体的配備計画の伝達会)

※2 4月以前からの準備・会議があれば、日付と内容を具体的に記入してください。

6年	1月	11日	内容(実施案作成・検討)
6年	1月	28日	内容(実施内容確認・参加団体への要請事項協議)
6年	2月	20日	内容(実施案完成・チラシ内容・写真展の確認)
6年	3月	8日	内容(ポスター・食事券等の作成、運営確認)
6年	3月	2・22・31日	内容(掲示物の作成、運営確認)

※3 来年度以降の予定

毎年、4月第1日曜日を「桜祭り」の実施日と決めている。

⑦ 事業運営への参加状況

事業運営への参加予定団体等	事業運営の予定スタッフ人数
連合町内会	15
交通防犯協議会	35
交通安全母の会	20
体育協会	40
社会福祉協議会	8
環境衛生協議会	8
愛育委員会	16
操明小学校PTA	10
操明幼稚園PTA	5
操南中学校PTA	15
操明学区コミュニティー協議会(当日司会含む)	12
電子町内会	7
連合自主防災会	7
かがやきクラブ	30
栄養改善協議会	5
三幡消防団	7
JA三幡婦人部	8
岡山医療生協操明支部・岡山東中央病院	5
フレンドリーハウス	5
大型紙芝居ぶんちやっちや	11
大正琴同好会	9
操南中学校吹奏楽部	46
岡山市レクリエーション協会	6
操明グランドゴルフ同好会	10
ベリーダンス同好会	15
太鼓同好会	70
岡山県ボート連盟	5
中学生ボランティア	20
計	28団体 450人

⑧ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	委員長				(広報・植樹担当)コミュニティ協議会 副会長
2	〃				(整備・美化担当)連合町内会副会長、環境衛生協議会会長
3	副委員長				連合町内会会長
4	〃				連合町内会副会長、コミュニティ協議会 会長
5	理 事				連合町内会副会長、江並下担当・自主防災会会長
6	〃				〃、藤崎上担当・青少年育成代表
7	〃				〃、江並上担当・地域活性化
8	〃				〃、江並中担当・地域活性化
9	〃				〃、桑野下担当・地域活性化
10	〃				連合町内会総務
11	〃				連合町内会理事長、地区活性化支援
12	〃				連合町内会理事、体育協会会長
13	〃				〃、愛育委員会会長
14	〃				〃、交通安全対策協議会会長
15	〃				〃、交通安全母の会会長
16	〃				〃、社会福祉協議会会長
17	〃				〃、電子町内会会長
18	〃				〃、編集委員会委員長
19	〃				〃、かがやきクラブ会長
20	〃				〃、栄養改善協議会会長
21	〃				操明小学校校長
22	〃				操明幼稚園園長
23	〃				操明小学校PTA会長
24	〃				操明幼稚園PTA会長
25	〃				操南中学校PTA会長
26	〃				操明おやこクラブ会長
27	〃				コミュニティ協議会 副会長

28	委員		連合町内会理事、学校施設開放運営管理者
29	〃		〃、福祉・コミュニティ活動支援
30	〃		〃、電子町内会推進委員
31	〃		〃、広報担当
32	〃		〃、防犯協議会会長
33	〃		〃、岡山中央交通安全協会操明支部支部長
34	〃		〃、コミュニティ協議会
35	〃		連合町内会監事
36	会計		連合町内会会計、コミュニティ協議会
37	監査		連合町内会監事、コミュニティ協議会

⑨ 収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	219,100	261,000	
協賛金	210,905	245,000	操明学区連合町内会より
負担金			
広告料			
寄附金、他収入		16,000	テントスペース料
収入合計	430,005	522,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	37,448	60,000	文具・ラミネートフィルム・消毒液等
②食糧費	123,897	150,000	会議用飲料・役員食事代等
③印刷製本費	0	10,000	
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	0	5,000	
⑦広告料	55,000	60,000	月間プラザ掲載料
⑧手数料	0	1,000	
⑨使用料	0	1,000	
⑩原材料費			
⑪委託料	49,470	45,000	司会・レクリエーション協会等
⑫工事請負費			
⑬報償費	146,000	175,000	ステージ出演謝礼・ポスター作製謝礼等
⑭保険料	9,926	15,000	イベント保険代金
小計(①)	421,741	522,000	
⑮新型コロナウイルス 感染防止対策経費	8,264	/	
小計(②)	8,264	0	
支出合計(①+②)	430,005	522,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ 希望しない
----------------	--

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業助成申込書 (身近な交流部門)

令和6年1月19日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ 団体名 サンセダイコウリョウフレアイフェスタウノ実行委員会
所在地 [Redacted]
連絡先 [Redacted]
フリガナ 代表者 職・氏名 実行委員長 ハットリ カズヒロ 服部 和博

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	三世代交流ふれ合いフェスタウの2024
事業実施区域 (小学校区)	宇野小学校区
① 地域の特徴	<p>※地域の自然・歴史・文化・現状などから、地域の特徴、地域課題などについて具体的に記入してください。次の「②事業の目的」、事業の実施効果につながっていくものとなるよう留意して下さい。</p> <p>昭和30年代までは近郊農業地帯であったが、現在では市街地へと発展し、核家族化が進み、高齢者と新世代の世帯が増加してコミュニケーションの場が必要となっている。</p> <p>当地域は、概ね標高5m前後あり、南海トラフ巨大地震による津波の心配は無いが、震度6弱も予想されている。旧旭川が通っていたため、地盤の脆弱性から液状化が起こりやすい。宇野学区は、ほとんどが旭川と百間川に囲まれている。そのため、平成30年7月初旬の西日本豪雨時では、護岸工事がほぼ完了しており、大きな被害はなかったが、想定外の降雨量により、内水によって、いたるところで道路は冠水し、部分的に床上浸水をした。</p> <p>しかしながら、大きな災害を経験しておらず防災意識が低く、防災についての啓発が重要課題で、令和元年までは毎年11月末に防災訓練を行ってきたが、コロナ禍で、3年間中止になり、防災意識はさらに低下している。</p> <p>また、岡山県の名門校県立岡山操山中学校・高等学校、発展著しい就実大学が存る文教地区であり、学生ボランティアとの交流は容易で実績もある。</p> <p>平成21年には、岡山市も政令市となり、中区役所を当学区に誘致できた。岡山中央警察署も存り、その警察署の指導によりゾーン30も岡山市内で一番に完成できた。人口も、小学校区としては、市内2番目で、19,600人を越えており、文教・行政・防犯の中心学区として、新旧住民がふれ合い融和することの大切さを認識することにより、さらなる発展が期待される地域である。</p>

② 事業の目的	ア 防犯 <input type="radio"/> イ 防災 <input type="radio"/> ウ 環境 <input type="radio"/> エ 支え合い オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 <input checked="" type="radio"/> ケ その他(交通安全)
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、事業の実施によって、地域にどのような効果が生まれたか、或いは地域課題の解決につながったなどといった成果(効果)について記入してください。</p> <p>イベント企画を通して学区内各種団体・学生ボランティアとの交流を図り、三世代交流及び障害者交流の場を提供し、地域の連帯感を醸成するとともに、ふれ合いのある住みよい明るい地域社会を築くことを目的とする。</p>	
事業開始年月	新規 <input type="radio"/> 継続 <input checked="" type="radio"/> 6回目(指定27年度から。) 【事業開始年度27年】

(平成28年度は、小学校耐震補強工事のため、令和2・3・4年度はコロナ禍のため中止)

③ 事業の内容	<p>○開催日時:令和 6年 7月27日(土曜日) 16時30分 ~ 20時30分 雨天時:<input checked="" type="radio"/>小雨決行、中止、延期: 月 日 曜日 時 分 ~)</p> <p>○開催場所:岡山市立宇野小学校グラウンド・体育館・多目的教室、宇野コミュニティハウス</p> <p>○事業内容 ※実施する事業の内容・方法・対象などについて、具体的に記入してください。</p> <p>(1)三世代交流・障害者交流 ・障害者を含む学区内の様々なグループによる演奏・演舞(参加者は、実施前に募集) ・宇野小学校児童吹奏楽部演奏 ・宇野認定こども園・浜保育園・原尾島子ども園園児歌・踊り ・遊び(幼稚園児によるスイカ割り等) ・岡山中央警察署防犯・交通安全 ・夜店(民児協・愛育・子ども会・宇野小PTA・福祉3団体・各種団体等) 合計15団体+α ・夏踊り</p> <p>(2)手作りイベント(検討中) ・防災・交通安全に関するイベントは検討中。</p> <p>(3)環境美化 ・当日の可燃ゴミ・不燃ゴミ・資源化物全て、参加者により、持ち帰りを実施する。 ・ゴミ箱は置かない。 ・ゴミの入れ物は、ビニール袋を配布する。</p>
---------	--

④ 事業の実施

○企画などの工夫、事業の見直し

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、

例えば、「地域ならではの視点や発想、地域の特色を活かすための工夫」、「地域住民等の参画や参加を促すための工夫」、「事業の目的を達成するための工夫」などについて、具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、前年度の反省事項や区づくり推進事業審査会からの助言・コメントを踏まえての取り組み、見直しなどを具体的に記入してください。

- ・高齢者・障害者席を、30席設ける。
- ・夜店に、福祉3団体を入れる。
- ・事業実施メンバーが一目で分かるように、ベストを着用する。(90着)
- ・体育館下のピロティを使い、全体配置を見直し、テント張り数の削減を図る。
- ・満足度の指標として、平成29年度より来場者数を、平成30年度からは退場者数も同時測定している。測定時間は、開始時間を30分早めたので、15時30分からとする。
- ・幼稚園歌・踊りの時に、宇野認定子ども園・浜保育園年長者の出演希望者も一緒に参加して貰う。
- ・事業実施メンバーは、宇野安全・安心ネットワークの49団体とする。
- ・コロナ禍で、開催が3年間中止となっている。ステージ出演者については、今後打合せを行い決定する。

○その他PRしたい点

※その他PRしたい点があれば記入して下さい。

- (1) 連合町内会を始め各種団体が協働で、それぞれの立場からアイデアを出し合い円滑・効率的に企画運営する。又、経験豊かな近隣学区からの助言・指導を頂く。
- (2) 会議案内は、他会議の出席者に配布をお願いする、又自転車等の利用により、通信運搬費をゼロにする。
- (3) 学区内最良のふれ合いの場となるよう努力する。
 - ・3世代・4世代全ての住民が参加できる内容とする。
 - ・高齢者・障害者の積極的な参加を呼びかける。
 - ・保・幼・小・中・高・大学生の参加を促し、活動内容のアピールや発表の場を提供する。
- (4) 中・高・大学生のボランティアを募集する。
- (5) 地域の特殊性から、防災・交通安全・環境美化関係のイベントを取り入れる。
- (6) 転倒予防(バリアフリー)を心がける。
- (7) 出入口・駐輪場には、実施メンバーの誘導員を置き、交通安全・駐輪場整理に努める。
- (8) 誰でもが参加・行動できるように、自由を束縛され規格化されることのないよう注意する。
- (9) ビニール袋を配布し、発生ゴミ持ち帰りにより、ゴミ分別啓発及び、発生ゴミ処理費用をゼロにする。

来場予定者(見込み)数	4,000人
-------------	--------

⑤ 事業の情報公開

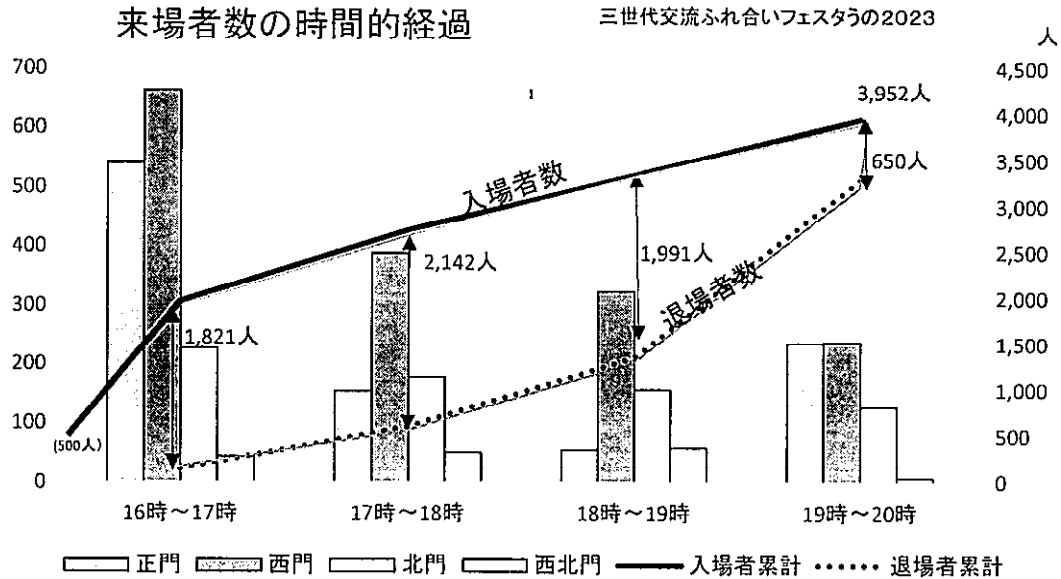
該当する全てのものに○を付けてください。

- I チラシを作成配布、 II. HPに掲載、 III. 市の広報誌に掲載、 IV. TV、ラジオで公開、
 V その他(A3カラーラミネート加工ポスター掲示)

新聞・情報誌等への
 問合せ先の情報に
 ついて

紹介することに同意する 紹介不要
 問合せ先名(実行委員長 服部 和博)
 連絡先(XXXXXXXXXX)

三世代交流ふれ合いフェスタの2023 来場者数グラフ



【実測値】

	正門	西門	北門	西北門	入場者累計	退場者累計	滞留者数
16時以前					500		
16時～17時	541	663	228	45	1,977	156	1,821
17時～18時	155	388	178	51	2,749	607	2,142
18時～19時	56	324	157	59	3,345	1,354	1,991
19時～20時	236	237	127	7	3,952	3,302	650
合計	988	1,612	690	162			

■来場者数全体

16時以前(推定)	500
16時～20時実測	3,452 (H29 2,627 H30 2,758 R1 2,927)
本部・出店舗	194
出演者	134
20時以降来場者数(推定)	100
合計	4,380

⑥ 事業スケジュール

	申 請 年 度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画会議 ※1	—											
準備・会議 ※2		—	—	—								
当 日				7/27(土)								
反省会議等					—							
監査・報告会					—							

※1 4月以前から企画会議があれば、記入してください。

第1回目:	6年	3月	12日
第2回目:	6年	3月	28日
第3回目:	年	月	日
第4回目:	年	月	日
第5回目:	年	月	日

※2 4月以前から準備・会議があれば、日付と内容を具体的に記入してください。

6年 2月13日(役割分担の打合せ)

※3 来年度以降の予定

継続して実施予定

⑦事業運営への参加状況

事業運営への参加団体等		事業運営の予定スタッフ人数
【運営スタッフ】		
1	宇野学区安全・安心ネットワーク(各町内会関係)	20
2	宇野学区連合町内会	1
3	宇野学区コミュニティハウス運営委員会	1
4	宇野地区社会福祉協議会	1
5	宇野学区交通安全対策協議会	1
6	宇野学区防犯安全パトロール隊	1
7	宇野学区婦人会	3
8	宇野学区交通安全母の会	25
9	宇野学区愛育委員会	1
10	宇野学区環境衛生協議会	1
11	宇野地区民生委員児童委員協議会	1
12	宇野学区子ども会	1
13	宇野学区スポーツ協会	5
14	岡山市消防団宇野分団	5
15	宇野学区老人クラブ連合会	1
16	岡山市立宇野小学校PTA	1
17	うのクラブ	1
18	宇野学区栄養改善協議会	1
19	親子クラブ	1
20	岡山市立宇野小学校	10
21	岡山市立操山中学校	22
22	岡山市宇野認定こども園	3
23	岡山市浜保育園	3
24	岡山市立操山公民館	1
25	岡山県立岡山操山中学校	31
26	原尾鳥こども園	10
27	岡山市福祉交流プラザうの	1
28	岡山市浜川原児童館	1
29	就実大学・就実短期大学	1
30	岡山県立岡山盲学校	1
31	元宇野学区連合町内会長	1
32	元宇野学区コミュニティハウス協議会会長	1
33	宇野学区スポーツ協会 (放送設備担当)	1
小計		159

事業運営への参加団体等

事業運営の予定スタッフ人数

【出店者】		
34	宇野地区民生委員児童委員協議会	18
35	宇野学区愛育委員会	11
36	宇野バレーボール	5
37	うのっこ食堂	5
38	宇野ファイターズ	20
39	岡山県立岡山操山中学校	27
40	穰子ども会	4
41	うのクラブ	15
42	岡山中央警察署	4
43	たんぽぽの会	27
44	ひとひら	5
45	とくのば	6
46	岡山医療生活協同組合	8
47	宇野軟式野球	20
48	岡山市中消防署	4
小計		179

【出演者】

49	宇野小学校吹奏	45
50	宇野認定こども園歌・踊り	30
51	浜保育園歌・踊り	6
52	原尾島こども園歌・踊り	29
53	うのクラブダンス	10
54	岡山県立岡山操山中学校吹奏	15
55	焼肉弁当(兄弟漫才)	2
56	西山諒一郎とウクレレサウンズ(フラダンス含む)	25
57	宇野ファイターズ クラブ活動紹介	15
58	宇野軟式野球 クラブ活動紹介	15
59	クッキーPカンナッツ演奏	3
60	UNOバンド演奏	6
61	鳥城穰鼓遊会	15
小計		216
計	61団体	554人

三世代交流ふれ合いフェスタ2024 事業実施メンバー

NO	申 込 の 団 体 職 業	氏 名	住 所	年 齢 (歳 代)	備 考 (加 入 団 体 等)
1	実行委員				浜元町 町内会
2	実行副委員長				浜本町 町内会
3	監事				浜二丁目 町内会
4	監事				浜操山町 町内会
5	実行委員				浜みどり町 町内会
6	兼務				原尾島原 町内会
7	実行委員				原尾島尾島 町内会
8	実行委員				原尾島倉淵 町内会
9	兼務				原尾島操山 町内会
10	実行委員				御園町 町内会
11	実行副委員長				穰東町 町内会
12	会計				西川原本町 町内会
13	実行委員				西川原西町 町内会
14	実行委員				西川原仲町 町内会
15	実行副委員長				東川原 町内会
16	実行副委員長				竹田 町内会
17	実行委員				西竹田 町内会
18	実行委員				竹田新町 町内会
19	実行委員				竹田上 町内会
20	実行委員				グラン・コート穰 町内会
21	実行委員長				宇野学区安全・安心ネットワーク(連合町内会)
22	実行副委員長				宇野学区コミュニティハウス運営委員会
23	事務局長				宇野地区社会福祉協議会
24	実行副委員長				宇野学区交通安全対策協議会
25	兼務				宇野学区防犯安全パトロール隊
26	実行副委員長				宇野学区婦人会
27	実行副委員長				宇野学区交通安全母の会
28	実行委員				宇野学区愛育委員会
29	実行副委員長				宇野学区環境衛生協議会
30	実行副委員長				宇野地区民生委員児童委員協議会
31	実行委員				宇野学区子ども会
32	実行副委員長				宇野学区スポーツ協会
33	実行委員				岡山市消防団宇野分団
34	実行委員				宇野学区老人クラブ連合会
35	実行副委員長				岡山市立宇野小学校PTA
36	実行副委員長				うのクラブ
37	実行委員				宇野学区栄養改善協議会
38	実行委員				親子クラブ
39	顧問				岡山市立宇野小学校
40	顧問				岡山市立操山中学校
41	顧問				岡山市宇野認定こども園
42	顧問				岡山市浜保育園
43	顧問				岡山市立操山公民館
44	顧問				岡山県立岡山操山中学校
45	顧問				原尾島こども園
46	顧問				岡山市福祉交流プラザ うの
47	顧問				岡山市浜川原児童館
48	顧問				就実大学・就実短期大学
49	顧問				岡山県立岡山盲学校
50	実行副委員長				安全安心ネットワーク
51	事務補助				岡山市立宇野小学校
52	事務補助				岡山市立宇野小学校
53	協力者				元宇野学区連合町内会長
54	協力者				元宇野学区コミュニティハウス協議会会長
55	協力者				スポーツ協会 (放送設備担当)

⑨ 収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	412,200	400,000	
協賛金	338,000	350,000	地元企業協賛金
負担金	14,000	14,000	地域団体負担金
広告料			
寄附金、他収入	349,111	332,160	地元町内会寄付金
収入合計	1,113,311	1,096,160	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	49,439	50,000	事務用品等
②食糧費	51,334	50,000	当日役員等 飲料代、食事代
③印刷製本費	49,778	50,000	カラーチラシ代、カラー掲示板用、会議資料印刷代
④燃料費	0		
⑤光熱水費	0		
⑥通信運搬費	0		
⑦広告料	0		
⑧手数料	5,720	1,000	振込手数料
⑨使用料	71,600	72,000	音響機器、コミュニティハウス使用料
⑩原材料費	0		
⑪委託料	708,000	708,000	ステージ設置・照明等委託、写真撮影
⑫工事請負費	0		
⑬報償費	130,060	130,000	出演者謝礼等
⑭保険料	35,160	35,160	傷害他 保険費用
小計(①)	1,101,091	1,096,160	
⑮新型コロナウイルス 感染防止対策経費	12,220	/	
小計(②)	12,220	0	
支出合計(①+②)	1,113,311	1,096,160	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する <input checked="" type="radio"/> ・ 希望しない <input type="radio"/>
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

支払いが早期に発生するため

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(身近な交流部門)

令和 5 年 12 月 11 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ 団体名 財田ふれあい夏祭り実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者 職・氏名 実行委員長 なかもとあつひろ 中元篤宏

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	財田ふれあい夏祭り	
事業実施区域 (小学校区)	財田小学校区	
① 地域の特色	<p>※地域の自然・歴史・文化・現状などから、地域の特色、地域課題などについて具体的に記入してください。次の「②事業の目的」、事業の実施効果につながっていくものとなるよう留意してください。</p> <p>古くからの住民と新興住宅地の増加で転入してこられる人が混在している地域 住みやすく利便性もよいことからベッドタウンとして若い世代が新居を構え住民が増加している。</p> <p>地域各種団体間の交流・親睦を進め、一体感をもって活動している。</p> <p>在日外国人の方も多く、人権問題に取り組んでいる。</p> <p>百間川が近く、西日本豪雨以降は防災への意識が年々高まっている。</p>	
② 事業の目的	該当事業項目に○を(複数可)	<input type="checkbox"/> 防犯 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 支え合い <input type="checkbox"/> オ健康 <input type="checkbox"/> カ自然等 <input type="checkbox"/> キ特産物等 <input type="checkbox"/> 人・歴史・文化等 <input type="checkbox"/> その他
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、地域にとって、どのような効果を生むか(期待できるか)や地域課題がどのように解決できるかなどといったことを記入してください。</p> <p>イベント企画を通じて、学区内の各種団体及び竜操中学校生のボランティアを含め、学区内の幅広い 住民との交流を図り、地域内の相互連帯・親睦を深める。</p> <p>防犯、防災の啓発ブースを設け、現在の取り組みや今後の展望などを紹介して連携強化につなげ、災害に強い地域を目指す。</p> <p>継続して開催する事で次世代の地域の担い手を育成する。</p>		
事業開始年月	新規・●継続 4回目(指定 R1年度から) 【事業開始年度 H29年】	

③ 事業の内容

ふれあい夏祭り(盆踊り、出店など)

○開催日時:令和 6年 7月 27日(土曜日) 17時30分～21時30分
雨天時:(小雨決行、中止、●延期: 7月 28日 日曜日 17時30分～)
延期も雨天の場合は中止

○開催場所:岡山市立財田小学校グラウンド

○事業内容

※実施する事業の内容・方法・対象などについて、具体的に記入してください。

- ① IPU吹奏楽サークルによるオープニング演奏
- ② 開会行事・来賓紹介
- ③ 親子参加型ステージショー
- ④ 盆踊り
- ⑤ 夜店(単位町内会有志・在日韓国有志・スポ少有志) 合計12店舗
- ⑥ 老人福祉施設入居者の招待
- ⑦ 環境に配慮し、分別収集用のゴミ箱を多数配置し、担当者による指導及び回収を行なう
- ⑧ 花火の打ち上げ(100発程度)
- ⑨ 防災組織の活動報告の掲示、防災グッズの展示・指導

○感染防止対策の内容

※実施する感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

- ① 手指消毒液の設置
- ② 夜店ブース担当者の衛生指導・手洗いの徹底
- ③ ステージや夜店の配置を工夫して各所での密集を防ぐ
- ④ 参加者へ感染予防の呼びかけ

④ 事業の実施

○企画などの工夫、事業の見直し

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、

例えば、「地域ならではの視点や発想、地域の特色等を活かすための工夫」、「地域住民等の参画や参加を促すための工夫」、「事業の目的を達成するための工夫」などについて、具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、前年度の反省事項や区づくり推進事業審査会からの助言・コメントを踏まえての取り組み、見直しなどを具体的に記入してください。

- ① 学区内の三・四世代が集い、ふれあい楽しみ、夜店や盆踊り、ゲームなどで相互親睦を図る
 - ② 竜操中学校との連携を深めるため、ボランティアの募集
 - ③ IPU 学生による子供向けブースの運営・地域住民との交流
 - ④ 社会福祉施設の人たちを招き楽しんでいただく
 - ⑤ 地域内に居住する在日外国人の方々との連携や郷土料理のブースを提供
 - ⑥ 防災ブースを設置し、防災・減災について啓発を行う。
-
- ◎ 学区内のより多くの住民が参加できるような企画を立案・実行していく
 - ◎ 人権の観点から、高齢者・障害を持つ人達・在日外国人など多くの人たちがふれ合えるイベントにしていく
 - ◎ 夜店の飲食店・ゲームブースの多彩化を計画する
 - ◎ 毎回参加者が増加し続けており、その為の警備や配布物、ごみ処理、消防・防犯、衛生面などに細心の注意を払い、事故の無いよう最大限の努力に努める
 - ◎ 実行委員の役割分担等を細分化し、円滑なイベント運営に改善していく
 - ◎ イベント保険に加入して事故に備える
 - ◎ 事前打ち合わせで担当、役割を周知する。

○その他 PR したい点

※その他 PR したい点があれば記入してください。

- ◎ これまでの取り組みを精査し、前年度を上回る企画を立案し、イベントに生かし、誰もが参加しやすい催しとなっている
- ◎ イベントの定着を図り、規模も 3,000 人が集える「ふれあい祭り」にし、学区の一大イベントとして住民各層からの支持を得られるものとしていく
- ◎ 夜店の模擬店は、商売ではなく参加者サイドに立ち、全ての価格値段を設定している
- ◎ 打ち上げ花火でお祭りのフィナーレを飾る

来場予定者(見込み)数

2000～2500 人

⑤ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けてください。

- ① チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、
- ⑤ その他(ポスター うちわ タオル)

新聞・情報誌等への
問合せ先の情報につ
いて

紹介することに同意する 紹介不要

問合せ先名(財田ふれあい夏祭り実行委員会 事務局長 槇原茂恭)

連絡先(XXXXXXXXXX)

⑥ 事業スケジュール

	申 請 年 度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画会議 ※1	←→											
準備・会議 ※2	←→											
当 日						9/2 (土)						
反省会議等												
監査・報告会						←→						

※1 4月以前からの企画会議があれば、記入してください。

第1回目:	R6年	1月	日
第2回目:	R6年	2月	日
第3回目:	R6年	3月	日
第4回目:	年	月	日
第5回目:	年	月	日

※2 4月以前からの準備・会議があれば、日付と内容を具体的に記入してください。

R6年 1月	日	内容(花火業者との打ち合わせ)
R6年 2月	日	内容(会場のレイアウト、出店内容など協議)
R6年 3月	日	内容(予算、必要物品など協議)

※3 来年度以降の予定

毎年継続して定着させる。

⑦ 事業運営への参加状況

事業運営への参加予定団体等	事業運営の予定スタッフ人数
財田学区連合町内会(単位町内会含む)	80
財田コミュニティ協議会	1
財田小学校 PTA	5
財田学区交通安全母の会	2
岡山市消防団財田分団	10
財田学区体育協会	10
財田学区愛育委員会	5
財田学区栄養委員会	2
財田学区社会福祉協議会	1
財田学区民生児童委員協議会	3
財田学区児童クラブ	2
財田学区老人クラブ連合会	1
安全安心ボランティア	1
財田小学校	2
東岡山 IPU こども園	5
IPU 学生ボランティア	30
岡山市立竜操中学校ボランティア	20
岡山市福祉交流プラザさいでん	2
社会福祉法人光輝園 さつき園	10
計	21 団体
	192 人

⑨ 事業実施メンバー

	申込団体 での 役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	実行委員長				神下町内会会長
2	副実行委員長				神下町内会副会長
3	副実行委員長				下町内会会長
4	事務局長・兼務				米田新町町内会会長
5	会計・兼務				長岡町内会会長
6	監査				長利町内会
7	監査				学区連合町内会監査
8	企画委員長・兼務				長岡町内会会長
9	実行委員				東神下町内会会長
10	実行委員				東岡山住宅団地町内会会長
11	実行委員				長利町内会会長
12	実行委員				東乙多見町内会会長
13	実行委員				米田町内会会長
14	実行委員				県住第1町内会会長
15	実行委員				県住第2町内会会長
16	実行委員				県住第4町内会会長
17	実行委員				県住第5町内会会長
18	実行委員				乙多見町内会会長
19	実行委員				南乙多見町内会会長
20	実行委員				乙多見新町町内会会長
21	実行委員				乙多見宮の里町内会会長
22	実行委員				田草町内会会長
23	実行委員				鉄工団地町内会会長
24	実行委員				財田小学校 PTA 会長
25	実行委員				学区交通安全母の会会長
26	実行委員				財田コミュニティー協議会事務局
27	実行委員				市消防 財田分団団長

28	実行委員		学区体育協会会長
29	実行委員		学区愛育委員会会長
30	実行委員		学区栄養委員会会長
31	実行委員・兼務		学区社会福祉協議会会長
32	実行委員・兼務		学区民生児童委員協議会会長
33	実行委員		学区主任児童委員
34	実行委員		学区老人クラブ連合会会長
35	実行委員		福祉交流プラザさいでん館長
36	特別委員		財田小学校校長
37	特別委員		財田幼稚園園長
38	特別委員		財田保育園園長
39	特別委員		神下保育園園長
40	特別委員		乙多見保育園園長
41	特別委員		財田児童センター館長

- * 実行委員会構成委員の中から、実行委員会三役と企画委員長が協議の上、企画委員(20人程度)を選任し、イベントの企画立案を協議する
- * 連合町内会加盟単位町内会会長等で編成する幹事会(毎月1回定例)で、イベントの役割分担を協議する
- * 開催日直前では夜店の出店関係者会議を2回程度開催し、提供物の確認や値段、レンタル機材などを決定していく

⑨ 収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	500,000	400,000	区づくり事業補助金
協賛金	1,192,000	1,400,000	企業等賛助金
負担金	1,754	0	実行委員会
広告料			
寄附金、他収入	200,000	250,000	単位町内会賛助金
収入合計	1,893,754	2,050,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	92,352	55,000	事務用品等
②食糧費	46,346	55,000	会場準備要員等の弁当代
③印刷製本費	100,720	150,000	案内状・チラシ・タオル・ポスター等
④燃料費	22,220	25,000	プロパンガス・ホース・調整器
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	1,218	150,000	ステージ設備一式
⑦広告料			
⑧手数料	9,330	5,000	振込手数料
⑨使用料	290,160	340,000	机・椅子・出店機材等
⑩原材料費	102,708	250,000	会場機材・氷代等
⑪委託料	480,000	500,000	打ち上げ花火・消防届け出費用等
⑫工事請負費	495,000	350,000	電気工事一式
⑬報償費	0	20,000	櫓設備設置等
⑭保険料	138,270	150,000	イベント保険等
小計(①)	1,778,324	2,050,000	
⑮新型コロナウイルス 感染防止対策経費	115,430	/	
小計(②)	115,430	0	
支出合計(①+②)	1,893,754	2,050,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する ・ <input type="radio"/> 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

初期の準備段階から支払いが生じるため。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(身近な交流部門)



令和 6年 1月 17日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ とみやまぶんか じっこういんかい
 団体名 富山文化まつり実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ いいんちよう えんどう ただし
 代表者 職・氏名 委員長 遠藤 正

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第20回 富山文化まつり
事業実施区域 (小学校区)	富山小学校区
① 地域の特色	<p>※地域の自然・歴史・文化・現状などから、地域の特色、地域課題などについて具体的に記入してください。次の「②事業の目的」、事業の実施効果につながっていくものとなるよう留意してください。</p> <p>富山学区に世界かんがい遺産である倉安川が流れ、背後には緑豊かな操山を望み池田家の菩提寺である曹源寺もあり学区民の文化的意識も高い地域である。また、学区民が相互協力して地域活性の為のイベントに協力的である。</p>
② 事業の目的	<p>該当事業項目に○を(複数可)</p> <p> <input type="checkbox"/> ア 防犯 <input type="checkbox"/> イ 防災 <input type="checkbox"/> ウ 環境 <input checked="" type="checkbox"/> エ 支え合い <input checked="" type="checkbox"/> オ 健康 <input checked="" type="checkbox"/> カ 自然等 <input type="checkbox"/> キ 特産物等 <input checked="" type="checkbox"/> ク 人・歴史・文化等 <input type="checkbox"/> ケ その他 </p>
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、地域にとって、どのような効果を生むか(期待できるか)や地域課題がどのように解決できるかなどといったことを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山文化まつりを通じて地域の輪 文化の輪を広げていきたい。 ・各種団体の活動を富山文化まつりを通じて地域民に知ってもらう事が出来る。 ・参加者が幼児から高齢者の方々まで沢山の参加があり、コミュニティの場として、そして明るく思いやりのある地域の活性を目指す。 ・富山文化まつりを開催することで、学区内の各種団体、企業等が参画し学区全体の連帯感を高め地域の活性化を図る。 	
事業開始年月	新規・ <input checked="" type="radio"/> 継続 20回目(指定 年度から) 【事業開始年度 年】

③ 事業の内容

○開催日時:令和 6年 10月 26日(土曜日) 10時 00分 ~ 16時 00分
10月 27日(日曜日) 10時 00分 ~ 15時 00分
雨天時(小雨決行)、中止、延期: 月 日 曜日 時 分 ~)

○開催場所:岡山市立富山公民館 岡山市立富山小学校体育館及び校庭

○事業内容

※実施する事業の内容・方法・対象などについて、具体的に記入してください。

富山文化まつり実行委員会として下記の5つの部会にて運営している

① 作品展示部

公民館講座等や地域で活躍されている方々の製作した作品を学区民に観てもらうためのレイトや展示者との打合せ、展示場所の設営等を行う。

② 舞台発表部

公民館講座や地域で活躍されている個人や団体の舞台発表のステージを提供。参加者と打合せを何度も行う。そして舞台発表者と学区民が共に楽しむ場作りをする事で一体感も生まれてくる。

③ 体験部

幼児から高齢者まで様々な体験が出来る。子ども向け工作、絵本の読み聞かせ、楽器の演奏、バルーンアート、投扇興、着付け、デイクア等

④ 模擬店部

各種飲食店の出店、子ども向け・シニア向けゲームコーナー等の企画及び運営を行う。

⑤ 広報部

富山文化まつりニュース1号、2号の作成(学区内全戸配布)

富山文化まつりプログラムの作成。

広報用ポスターの作成。横断幕、のぼり等の設置。

その他

子どもの遊びコーナー、ハロウィン大会、富山コンサート等 企画運営
イベントで出るゴミ削減への取り組み

④ 事業の実施

○企画などの工夫、事業の見直し

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、

例えば、「地域ならではの視点や発想、地域の特色等を活かすための工夫」、「地域住民等の参画や参加を促すための工夫」、「事業の目的を達成するための工夫」などについて、具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、前年度の反省事項や区づくり推進事業審査会からの助言・コメントを踏まえての取り組み、見直しなどを具体的に記入してください。

- ・富山文化まつりに出品・出店・出演等の募集案内を学区内全戸配布
- ・小さいお子さんが文化まつりに楽しく参加できる企画をする事で、若いお父さんお母さんの参加が増える。
- ・富山学区に居住しているアーティストの方に作品の出品や演奏をお願いし高等な文化を目指す。
- ・PTAを中心とする「親父の会」による子ども達との遊びのコーナーを設ける。
- ・会場を富山小学校・富山公民館だけでなく、さくら学園ホール、コミュニティーハウスに分散する事でそれぞれの会場での文化向上(コミュニティー)を図る事が出来る。
- ・地域の飲食店等の協力も得 富山文化まつりウィークリー(まつり開催前1週間)を開催し各店舗にて特色のあるサービスをお客さんに提供してもらい学区全体の盛り上げに協力頂く。
- ・参加者にゴミの持ち帰りや、リユース食器の使用でゴミの削減を目指す。

○その他 PR したい点

※その他 PR したい点があれば記入してください。

- ・学区内の各種団体の方々が協力的である。
- ・幼・少・中・こども園の先生方、公民館の職員の皆さんが協力的である。
- ・実行委員の皆さんが富山文化まつりを通じての地域活性とコミュニティーの場作りとして継続していく事を望んでいる。

来場予定者(見込み)数	1500 人
-------------	--------

⑤ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けてください。

- I チラシを作成配布、
 II HPに掲載、
 III 市の広報紙に掲載、
 IV TV、ラジオで公開、
 V その他()

新聞・情報誌等への 問合せ先の情報に ついて	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介することに同意する <input type="checkbox"/> 紹介不要 問合せ先名(富山文化まつり 実行委員会 委員長 遠藤 正) 連絡先 (XXXXXXXXXX)	
------------------------------	---	--

⑦ 事業運営への参加状況

事業運営への参加予定団体等	事業運営の予定スタッフ人数
① 富山学区連合町内会	21 町内
② 富山文化まつり実行委員会	25名
③ 富山幼稚園	50名
④ 富山小学校	50名
⑤ 富山中学校	50名
⑥ 富山こども園	30名
⑦ 富山学区民(作品展示・舞台発表・模擬店・体験)	400名
⑧ 富山電子町内会	10名
⑨ 富山スポーツ少年団 後援会	10名
⑩ 富山学区コミュニティー協議会	5名
⑪ 交通安全 母の会	15名
⑫ 富山ハートフルバンド	40名
⑬ 晴吹ブラスバンド	45名
⑭ 愛育委員会	20名
⑮ 元気の出る会	10名
⑯ サロン・ド・ミュゼとみやま	10名
⑰ 富山学区婦人会	8名
⑱ 若松園	20名
⑲ 富山荘	20名
⑳ 恵風荘	20名
	(21町内は除いた数字)
計	20 団体
	828 人

⑧ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	会長				連合町内会長
2	委員長				
3	副委員長				
4	副委員長				
5	副委員長				
6	部会長				
7	部会長				
8	会計				
9	総務・書記				
10	委員				
11	委員				
12	委員				
13	委員				
14	委員				
15	委員				
16	委員				
17	委員				
18	委員				
19	委員				
20	委員				
21	委員				富山中学校教頭
22	委員				富山小学校副校長
23	委員				富山小学校教頭
24	監事				
25	監事				

⑨ 収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	296,600	255,000	510,000/2(100円未満切捨て)
協賛金	50,000	50,000	富山学区自治振興会より
負担金	94,200	100,000	作品出展、出演料等
広告料			
寄附金、他収入	96,990	105,000	模擬店出店料等
利息	1		
収入合計	537,791	510,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	73,767	80,000	封筒、文具、用紙、賞状等
②食糧費	87,859	90,000	事業当日の昼食、飲料等
③印刷製本費	181,867	180,000	印刷、コピー
④燃料費	2,000	5,000	ガソリン
⑤光熱水費	0		
⑥通信運搬費	7,984	10,000	切手、はがき等
⑦広告料	0		
⑧手数料	7,579	10,000	クリーニング等
⑨使用料	14,000	15,000	ホール使用料
⑩原材料費	0		
⑪委託料	18,000	20,000	警備
⑫工事請負費	0		
⑬報償費	61,244	70,000	出演料、音響運営等
⑭保険料	28,000	30,000	保険料
小計(①)	482,300	510,000	
⑮新型コロナウイルス 感染防止対策経費	55,491	/	消毒液、救護用テント・テーブル等
小計(②)	55,491	0	
支出合計(①+②)	537,791	510,000	

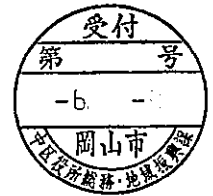
◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する <input type="radio"/> 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

消耗品費・印刷費等々、富山文化まつり実施直前に発生する費用が多いため。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(身近な交流部門)

令和 6 年 1 月 9 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒライマツリジッコウイインカイ
団体名 平井まつり実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ インチョウ ハナオカ エイトロウ
代表者役職・氏名 委員長 花岡 栄太郎

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	平井まつり“2024”	
事業実施区域 (小学校区)	平井小学校区	
① 地域の特色	<p>※地域の自然・歴史・文化・現状などから、地域の特色、地域課題などについて具体的に記入してください。次の「②事業の目的」、事業の実施効果につながっていくものとなるよう留意してください。</p> <p>地域活動に最も重要な、住民相互のコミュニケーションが年々薄れつつあります。この事業を継続していることで、子どもからお年寄りまで多くの地域の方々に参加してもらうことで地域を知り、人と人の繋がりができつつある。</p>	
② 事業の目的	該当事業項目に○を(複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 防犯 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 環境 エ 支え合い オ 健康 カ 自然等 キ 特産物等 ク 人・歴史・文化等 ケ その他
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、地域にとって、どのような効果を生むか(期待できるか)や地域課題がどのように解決できるかなどといったことを記入してください。</p> <p>平井学区では、地域課題を解決するために、学区の学校園・各種団体及び地域の企業が一致団結し、岡山中央警察署・岡山市中消防署・国土交通省岡山河川事務所と協働で子どもからお年寄りまで世代を超えて誰にでも、楽しくて交流のできる機会を提供することにより、「わがまち平井」の良さを再認識してもらい、心豊かで活力のある安全で安心して暮らせるまちづくりを推進し、地域の活性化を図ります。</p>		
事業開始年月	新規・継続 14回目(指定 H20 年度から) 【事業開始年度 H21 年】	

③ 事業の内容

○開催日時:令和 6年 11月 2日(土曜日) 9時30分～14時00分
雨天時:(小雨決行)、中止、延期: 月 日 曜日 時 分～)

○開催場所:岡山市立平井小学校

○事業内容

※実施する事業の内容・方法・対象などについて、具体的に記入してください。

校舎内 親子で楽しむ木工教室、平井小PTAの制服リサイクルバザー

東山中学校ボランティア部生徒によるバルーンアートの実演と配布

・運動場 開会行事及び平井小学校スマイルバンド・東山中学校ブラスバンド演奏

岡山県警察楽隊演奏、山陽学園学生によるうらじゃ踊り、

警察車両展示、消防車両展示、起震車体験、火災時の煙道体験、

河川パトロール車展示、消防署による防火・防犯啓発活動、各種団体

による日頃の活動による紹介や啓発活動、起震車による地震体験に

よる防災意識の高揚、交通安全クイズによる交通安全啓発活動、

各種団体模擬店、学区内外企業模擬店、国土交通省岡山河川事務

所によるハザードマップの展示や過去の災害の写真を展示することに

よる災害に対する意識の高揚と啓発活動、交通安全クイズやビンゴゲ

ームなどのお楽しみイベントなど

④ 事業の実施

○企画などの工夫、事業の見直し

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、

例えば、「地域ならではの視点や発想、地域の特色等を活かすための工夫」、「地域住民等の参画や参加を促すための工夫」、「事業の目的を達成するための工夫」などについて、具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、前年度の反省事項や区づくり推進事業審査会からの助言・コメントを踏まえての取り組み、見直しなどを具体的に記入してください。

- ・ 各種団体などの代表者からなる実行委員会を組織して手作りの企画・運営を行う。
- ・ 参加する中学生の意見を参考にする。
- ・ 岡山河川事務所・中央警察・中消防等に参加してもらい、防災・防火・防犯・交通安全の啓発、指導を行ってもらう。
- ・ このイベントは、参加の各種団体は活動内容のアピールする場として活用している。
- ・ 高齢者の方が参加しやすいよう例年通りの休憩所の設置や交通安全クイズなどのイベントについて工夫をしていきたい。
- ・ 学校園の生徒・児童の発表の場として提供している。
抽選で防災グッズを提供し、防災意識の高揚を図っている。
- ・ 「支えあい」についてどのようなことができるか検討していきたい。

○その他 PR したい点

※その他 PR したい点があれば記入してください。

来場予定者(見込み)数	25 00人
-------------	--------

⑤ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けてください。

I チラシを作成配布、 II HPに掲載、 III 市の広報紙に掲載、 IV TV、ラジオで公開、
V その他()

新聞・情報誌等への 問合せ先の情報につ いて	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介することに同意する 問合せ先名(花岡 栄太郎) 連絡先 (XXXXXXXXXX)	<input type="checkbox"/> 紹介不要
------------------------------	--	-------------------------------

⑥ 事業スケジュール

	申 請 年 度							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
企画会議 ※1	21日 実行 委員会	18日 実行 委員会	23日 実行 委員会	6日 実行 委員会	24日 実行 委員会	29日 実行 委員会		
準備・会議 ※2							1日 前 日準備	
当 日							2日 開 催	
反省会議等							5日 反省会	
監査・報告会							26日 監査	3日 報告会

※1 4月以前からの企画会議があれば、記入してください。

第1回目:	年	月	日
第2回目:	年	月	日
第3回目:	年	月	日
第4回目:	年	月	日
第5回目:	年	月	日

※2 4月以前からの準備・会議があれば、日付と内容を具体的に記入してください。

年	月	日	内容()
---	---	---	-------

※3 来年度以降の予定

継続し開催予定

⑦ 事業運営への参加状況

事業運営への参加予定団体等	事業運営の予定スタッフ人数
平井学区連合町内会	11
平井学区安全・安心ネットワーク	10
平井地区社会福祉協議会	5
平井学区教育振興会	5
平井学区コミュニティ協議会	3
平井地区民生委員・児童委員会	15
平井地区愛育委員会	20
平井学区シルバークラブ連合会	3
交通安全協会平井支部	8
平井学区交通安全母の会	3
平井消防分団	10
平井学区体育協会	12
平井小学校学校支援ボランティア	5
平井地区少年警察協助員会	3
平井地区保護司会	4
平井小学校スマイルバンド	10
平井小学校 PTA	25
平井幼稚園 PTA	10
平井保育園保護者会	12
山陽短期大学附属幼稚園PTA	10
東山中学校吹奏楽部	5
東山中学校ボランティア委員会	25
弘徳学園	6
特別養護老人ホーム おもいやり	4
計	24 団体 224 人

⑧ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	顧問				連合町内会会長
2	顧問				前、連合町内会副会長
3	委員長				安全・安心ネットワーク会長
4	副委員長				教育振興会会長
5	委員				湊町内会長
6	委員				コミュニティ協議会会長
7	委員				連合町内会副会長
8	委員				平井地区社協会長
9	委員				交通安全協会支部長
10	委員				愛育委員会会長
11	委員				消防分団長
12	委員				前東山中学校PTA会長
13	委員				平井小学校PTA会長
14	委員				平井幼稚園PTA会長
15	委員				平井保育園保護者会長
16	委員				山陽幼稚園PTA会長
17	委員				平井小学校教頭
18	事務局・会計				地区民児協会会長
19	幹事				栄養改善委員会会長
20	幹事				交通安全母の会会長
21	幹事				平井幼稚園長
22	幹事				平井保育園長
23	監事				防犯協議会会長
24	監事				平井小学校長
25					

⑨ 収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	243,800	255,000	
協賛金	179,641	245,000	連合町内会他3団体
負担金	7,000	10,000	参加者負担金
広告料			
寄附金、他収入			
収入合計	430,441	510,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	68,269	55,000	トラロープ、事務用品、のぼり旗
②食糧費	48,384	55,000	当日の弁当:お茶代
③印刷製本費	50,050	77,000	ポスター・チラシ・資料印刷代
④燃料費	3,277	5,000	発電機用ガソリン代
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	5,481	15,000	切手・ハガキ代
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	72,150	165,000	休憩用テント・椅子リース代
⑩原材料費			
⑪委託料	16,500	18,000	当日、警備委託料
⑫工事請負費			
⑬報償費	69,000	70,000	出演者・MC謝礼、バルーン指導料(材料費含)
⑭保険料	40,000	50,000	当日、参加者行事保険(傷害保険)
小計(①)	373,111	510,000	
⑮新型コロナウイルス 感染防止対策経費	57,330	/	
小計(②)	57,330	0	
支出合計(①+②)	430,441	510,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ <input checked="" type="radio"/> 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(身近な交流部門)

令和 6 年 / 月 / 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ サン 勲 会
団体名 **三 勲 会**

所在地

連絡先

フリガナ なり た まき し
代表者 職・氏名 会長 **成 田 昌 士**

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	三勲学区ふれあい事業(春・夏・冬の四世代ふれあいフェスティバル)	
事業実施区域 (小学校区)	岡山市立三勲小学校区域	
① 地域の特色	<p>※地域の自然・歴史・文化・現状などから、地域の特色、地域課題などについて具体的に記入してください。次の「②事業の目的」、事業の実施効果につながっていくものとなるよう留意してください。</p> <p>三勲学区は、高齢者の割合が高くなりつつも、マンション建設等により若い年代の方も増加している地域である。市内中央部からも近く、通勤族の方も多い地域である。防犯組織も確立されており、学区内の各種団体も三勲会を中心に連携がとれている地域だと思う。学校も多くあり、地区公民館も建設され、防災キャンプの中心として、実施。地区住民の連携が今後も重要となってきた。</p> <p>R5年に三勲小学校 100周年を迎え、学区内の連携が出来ており地域での更なる連帯を目指す。</p>	
② 事業の目的	<p>該当事業項目に○を(複数可)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 防犯 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 支え合い</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> 自然等 <input type="checkbox"/> 特産物等</p> <p><input type="checkbox"/> 人・歴史・文化等 <input checked="" type="checkbox"/> その他</p>
<p>※①の「地域の特色」を踏まえたうえで、事業の実施により地域(課題)をどのようにしたいのかを具体的に記入してください。そして、地域にとって、どのような効果を生むか(期待できるか)や地域課題がどのように解決できるかなどといったことを記入してください。</p> <p>三勲学区の学区民(幼児から高齢者まで)の交流事業を通じての地域民のふれあい、地域をあげての青少年健全育成を目的とするもので『住んでみたい三勲学区を創ろう』を合言葉に、四季を通じた交流事業を開催し、コミュニティーの育成と地域の活性化を図る。また、将来の地域活性化をにう人材育成へ向けた礎を築く。昨年度に三勲小学校 100周年を迎え、地域の連帯感が出来つつあり、更なる強固な連携を目指す。コロナ感染リスクで出来なかった事業を再開し、春・夏・冬のフェスティバルを計画する。春は防災・健康をテーマに、夏はつながりをテーマに、冬は餅つきとポイントハイクをミックスし、地域の学校・公民館・企業との連携を図る。</p>		
事業開始年月	<p>新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 15 回目(指定 h20 年度から) 【事業開始年度 2005 年】</p>	

③ 事業の内容

三勲学区ふれあい事業

◎春の四世代ふれあいフェスティバル 予備日:2024年6月2日

- 1.開催日 2024年5月26日(日)午前10時～午後2時
- 2.場所 岡山市立三勲小学校
- 3.内容 ①ふれあいゲーム②地域学校のプラスハンド演奏③フワフワ④園児ダンス

⑤野点⑥非常用炊き出し⑦AED講習⑧ビンゴ⑨福引⑩うどんサービス

新学期も始まり地域の活性化を目指し、テーマは「防災・健康」で1日楽しむ。学生ボランティアに企画してもらおう事も可能な限り実施予定。

◎夏の4世代納涼フェスティバル(小雨決行)予備日:2024年8月18日(三勲小学校予定)

- 1.開催日 2024年8月17日(土)午後4時～午後9時
- 2.場所 三勲小学校
- 3.内容 ①ふれあいゲーム②地域学校のプラスハンド演奏③剣道スポ少の演技④みんなの出し物⑤毎年変わるお楽しみイベント

工事のため東山公園で実施していましたが、小学校実施する。地域の活性化ふれあいの為に、夏祭りを実施する。テーマは「ふれあい」。地域の学校関係及び企業の協力を依頼し、学区全体で盛り上げる。基本的にはステージ中心ではあるが、空きスペースで子どもが遊べるゲーム等を併用して考えていく。

◎冬の4世代フェスティバル(小雨決行)

- 1.開催日 2024年12月8日(日)午前9時～14時
- 2.場所 東山公園集会所前付近(学区内)
- 3.内容 餅つきの復活とウオークラーで計画

コロナで出来なかった小学校入学前児童を中心にふれあい餅つきを実施し、小さなお子様を持つ家族に対し四季を通じたイベントのアピール及び協力者の発掘に努め、高齢者の方は裏方を中心に協力依頼し、子どもとのふれあいが出来る様計画する。昨年同様にウオークラーも併用した形で計画し、対象範囲も広げ学区の充実を図ります。

※日程は学校関係とのすり合わせが未了のため、変更の可能性あります。

④ 事業の実施

○企画などの工夫、事業の見直し

※事業実施にあたっての企画、手法、組織体制などの工夫について、

例えば、「地域ならではの視点や発想、地域の特色等を活かすための工夫」、「地域住民等の参画や参加を促すための工夫」、「事業の目的を達成するための工夫」などについて、具体的に記入してください。

※また、継続事業の場合は、前年度の反省事項や区づくり推進事業審査会からの助言・コメントを踏まえての取り組み、見直しなどを具体的に記入してください。

行事实施にあたり、各種団体への協力体制確立・事業計画立案のため最低2回以上は企画会議を開催し、学区民への周知徹底のための説明会・ポスター・ちらしの配布等によるPRをします。

各種団体の協力の基、マンネリ化しないように毎年、少しずつイベント内容にも工夫をこらしています。学校・公民館・企業とも協力体制で実施する計画です。

また、後継者育成についても考え、若者の視点でイベント内容を計画出来る様に、調整を図っていく。

○その他 PR したい点

※その他 PR したい点があれば記入してください。

年間を通じてのイベント回数、学区内各種団体の連携はすばらしいものがあり、おかやまマラソンの学区応援ブースを自主的に設置し、学区をあげて応援している。連携の良さは、防犯・防災等にも通じるものがある。

昨年の三敷小学校 100 周年も盛大に実施出来、地域の学校・公民館との連携もとれており、地域活性化のため協力できる体制が出来ている。

来場予定者(見込み)数

春 700・夏 1,200・冬 500 人

⑤ 事業の情報公開

該当する全てのものに○を付けてください。

- Ⅰ チラシを作成配布、 Ⅱ HPに掲載、 Ⅲ 市の広報紙に掲載、 Ⅳ TV、ラジオで公開、
 Ⅴ その他(地元企業等へ協力要請、学校・公民館等とのコラボ実施)

新聞・情報誌等への
問合せ先の情報につ
いて

紹介することに同意する 紹介不要

問合せ先名(三敷会事務局 関野 雅夫)

連絡先(XXXXXXXXXX)

⑥ 事業スケジュール

	申 請 年 度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画 会議 ※1	春・夏	春・夏	夏	夏		冬	冬	冬				
準備・ 会議 ※2		春		夏	夏			冬	冬			
当 日		5/26			8/17				12/8			
反省 会議 等			春	春	夏	夏			冬	冬		
監査・ 報告 会				春		夏				冬		

※1 4月以前からの企画会議があれば、記入してください。

第1回目:	2024年	1月	10日
第2回目:	2024年	2月	7日
第3回目:	2024年	3月	13日
第4回目:	2024年	3月	22日

※2 4月以前からの準備・会議があれば、日付と内容を具体的に記入してください。

2024年	1月	10日	内容(実施内容の検討、三勲会)
2024年	2月	7日	(実施内容の検討、スポーツ協会)
2023年	3月	13日	(実施内容の検討、三勲会)
2023年	3月	22日	(実施内容の検討、三勲小学校100周年実行委員会)

※3 来年度以降の予定

毎年ほぼ同じ日程で同様の事業を継続実施予定 春・夏・冬のフェスティバル開催へ向けて計画する予定。 スポーツ的なイベント、防災関係イベントは別途計画する。
--

⑧ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	会長				連合町内会会長
2	理事・事務				スポーツ協会会長 交通対策協会会長
3	理事				社会福祉協議会会長
4	理事				婦人会会長
5	理事				防犯協議会会長
6	理事				民児協会会長
7	理事				老人クラブ会長
8	理事				子ども会会長
9	理事				教育振興会会長
10	理事				岡山市議会議員
11	理事				三敷小 PTA 会長
12	理事				交通安全母会会長
13	理事				栄養改善協議会
14	理事・会計				愛育委員会会長
15	会計監査				社協事務局長
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

⑨ 収支予算書

収入

※合計

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	244,600	400,000	
協賛金			
負担金	244,738	621,000	学区負担金
広告料			
寄附金、他収入			
収入合計	489,338	1,021,000	

支出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	84,325	140,000	書道用紙、井等、コップ
②食糧費	41,836	110,000	スタッフ軽食、お茶
③印刷製本費	70,971	140,000	ポスター・チラシ
④燃料費	0	12,000	カセットボンベ、まき
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	6,216	22,000	案内用切手
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	880	2,000	振込手数料
⑨使用料	268,510	325,000	ステージ・レンタカー・他
⑩原材料費	0	162,000	もち米・小豆・きなこ・等
⑪委託料	0	41,000	ゴミ処理代
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	16,600	30,000	出演者御礼
⑭保険料	0	37,000	傷害保険
小計(①)	489,338	1,021,000	
⑮新型コロナウイルス 感染防止対策経費		/	
小計(②)	0	0	
支出合計(①+②)	489,338	1,021,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ <input checked="" type="radio"/> 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 6年 1月 10日

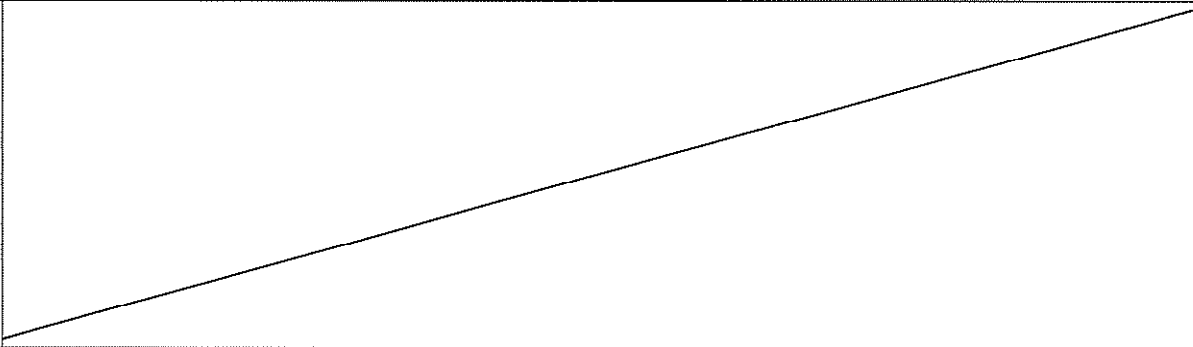
岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒライガックチイキヅクリカイギ
 団体名 平井学区地域づくり会議
 所在地 [Redacted]
 連絡先 [Redacted]
 フリガナ ギチョウ ナス カズオ
 代表者 役職・氏名 議長 那須 和夫

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input type="radio"/> ア 地域課題解決 <input checked="" type="radio"/> ① 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	地域づくり会議の運営と事業展開
事業実施小学校区・地区	平井小学校区
事業実施回数	新規 ・ <input checked="" type="radio"/> 継続 10回目 / 【平成27年度から】
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の方や高齢者の一人暮らしの方が多く、認知症のことも心配である。 ・ 小学生をはじめ地域の子供たちが増えてきているが、彼らの居場所がない。 ・ 中学生・高校生に、もっと地域のことに関心をもってほしい。 ・ 急な災害時に対応できる地域の事情にそった「防災マップ」がない。 ・ コロナ禍で減少した高齢者の参加の回復（オレンジカフェひらいなど）
事業の目的	<p>地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより、地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指すことを目的としている。</p> <p>まず高齢者対策として、認知症の早期発見のための取り組みや認知症予防の観点から「オレンジカフェひらい」月1回の開催を継続する。</p> <p>また子供達の居場所づくりの一環として「プレイパーク」を計画し年2回程度実施する。「ひらい子どもフェスタ」も引き続き年1回は開催したい。</p> <p>山陽学園大学、旭東病院の協力により、「健康チェック」「認知症サポーター養成講座」等も年2回実施する。</p>

<p>事業の内容 内容・感染防止対策の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の内容 1 認知症予防対策として「オレンジカフェひらい」を月1回開催 2 子供達の居場所づくりの一環として「プレイパーク」を年2回開催 3 「ひらい子どもフェスタ」を年1回開催 4 地域住民の健康対策として「健康チェック」を年2回開催 5 認知症を理解し、認知症に優しい地域を目指して「認知症サポーター養成講座」を年2回開催 6 災害時や防犯に役立つと思われる「緊急用ホイッスル」を平井専用IDカードと共に地域の高齢者や認知症サポーター養成講座受講者に配布する 7 中学生・高校生等を中心に、生まれ育った場所で、地域活動を行うことで地域の事をもっとよく知り、主体性を持って地域活動に参加できるプロジェクトとして新たな専門部会を立ち上げる 8 令和5年度には進展しなかった「ひらい防災マップ」の発行に向けては、対策チームを立ち上げ具体化の検討を開始する
<p>期待される成果・目標</p>	<p>【期待される成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくり会議の構成委員は、各種団体の代表者から構成されており、議論された内容や方針など所属する団体へ周知することにより、学区一丸となって地域課題に取り組むことが出来る 高齢者や子供たちをはじめすべての住民の皆さんが、安全で健康に暮らせる地域を目指す <p>【令和6年度の事業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「オレンジカフェひらい」は、月1回の開催を継続する ・ 「プレイパーク」も年2回の開催を継続する ・ 「ひらい子どもフェスタ」を年1回開催する ・ 「健康チェック」「認知症サポーター養成講座」も年2回の開催を継続する ・ 「旭川クリーン作戦」を年一回開催する ・ 新たに、中高生を中心に、自分たちが住む地域の事をよく知り主体性をもって地域活動に参加できるプロジェクトを立ち上げる ・ 緊急な災害時に本当に役立つ「ひらい防災マップ」の発行を目指す

<p>企画などの工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり会議で議論された課題やテーマに応じて専門部会を発足させ、同部会で具体検討を行う。 ・専門部会で検討された課題解決策や対策事業の計画などは、地域づくり会議に諮り、審議する。同プロセスにより、効率的な会議運営を行う。 ・学区発刊のチラシを作成し、活動内容をアピールする。 ・平井学区ホームページ等を活用し、広く住民の声を反映する。 		
<p>協働する団体等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山陽学園大学・山陽学園短期大学 ・岡山旭東病院 ・東山公民館 ・岡山市ふれあい介護予防センター ・東山中学校区及び平井小学校区の学校園 ・岡山市ボーイスカウト団 		
<p>事業の情報公開</p>	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="252 853 582 992"> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシの作成と世帯配布 ・学区発刊の新聞に掲載 ・学区ホームページに掲載 ・各種団体の発刊誌に掲載 </td> <td data-bbox="639 853 1173 992"> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり会議発行 平井学区連合町内会 平井学区電子町内会 地区社協、地区民児協、学区愛育委員など </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシの作成と世帯配布 ・学区発刊の新聞に掲載 ・学区ホームページに掲載 ・各種団体の発刊誌に掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり会議発行 平井学区連合町内会 平井学区電子町内会 地区社協、地区民児協、学区愛育委員など
<ul style="list-style-type: none"> ・チラシの作成と世帯配布 ・学区発刊の新聞に掲載 ・学区ホームページに掲載 ・各種団体の発刊誌に掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり会議発行 平井学区連合町内会 平井学区電子町内会 地区社協、地区民児協、学区愛育委員など 		
<p>学区地区への広がり</p>			
<p>前年度からの見直し拡充点</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 認知症予防対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「オレンジカフェひらい」を月1回開催する。令和5年度も新型コロナ等により開催の難しい内容の行事もあったが、原点に戻り開催できるよう検討していく。 ・「認知症サポーター養成講座」、「健康チェック」も内容、参加者等新たに考慮しながら年2回の開催を続けたい。 (2) 子育て世代の課題とニーズ対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「プレイパーク」は従来通り年2回開催出来るよう工夫したい。 ・「ひらい子どもフェスタ」も年1回開催していきたい。 (3) 中高生主体の地域活動他 <ul style="list-style-type: none"> ・中学生・高校生を中心に地域のことを理解し主体性をもって地域活動に参加してもらおう。 (4) 防災マップの見直し <ul style="list-style-type: none"> ・急な災害時に役に立つ「ひらい防災マップ」発行の具体策の検討。 		

<p>次年度以降の予定</p>	<p>① 年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度（令和6年度）事業活動のチェック（PDCAmCA） ・次年度継続事業の活動計画策定と実行 ・地域課題の残課題検討の方向付けと検討 ・支援体制の仕組みづくり ・新サービス事業の検討と構築 等 <p>②資金の確保について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 次年度も区づくり推進事業を申請する予定</p> <p><input type="checkbox"/> () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。</p> <p>資金確保の具体的な方策：</p>
<p>その他PRしたい点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学区内の単位町内会・自治会に対し、本会議をモデルケースに地域で支え合う仕組みづくりや町内会の問題をみんなで考え、話し合うことの重要性を訴求し、単位町内会・自治会へ同様の会議体設立を推進する足がかりとしたい。 ・近年、国の内外で多発する、地震や巨大台風等による風水害の発生に備え、従来とは異なる自主防災について考えていく必要がある。 ・「ひらい防災マップ」を新たに作成し、自主防災につなげたい。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「プレイパーク」開催 ③「ひらい防災マップ」の検討
5月	①「オレンジカフェひらい」開催
6月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催 ③認知症サポーター養成講座開催
7月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「ひらい防災マップ」の検討
8月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「健康チェック」開催
9月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催 ③「ひらい防災マップ」の検討
10月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②中高生ボランティアの検討
11月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「プレイパーク」開催 ③「ひらい防災マップ」の検討
12月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催 ③「認知症サポーター養成講座」開催
1月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「ひらい防災マップ」の検討
2月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「ひらい子どもフェスタ」開催
3月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催 ③「健康チェック」開催 ④会議報告・反省会

事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	議長				連合町内会長
2	副議長				安全・安心ネットワーク会長
3	事務局長				防犯協議会会長
4	会計				湊町内会会長
5	会計監査				シルバークラブ連 合会会長
6	常任委員				連合町内会副会長
7	〃				連合町内会副会長
8	〃				川東町内会長
9	〃				元川東町内会長
10	〃				元北川町内会長
11	〃				元北川町内会長
12	〃				社会福祉協議会長
13	〃				愛育委員会会長
14	〃				愛育委員会副会長
15	〃				連合町内会相談役
16	〃				交通安全協会平井 支部長
17	〃				交通安全母の会長
18	〃				すみれ町内会長
19	〃				山陽学園大学地域連 携推進センター参事
20	〃				新町町内会長
21	〃				電子町内会委員会
22	〃				平井消防分団長
23	〃				平井上町町内会長
24	〃				オレンジカフェ

25	"				平井小PTA会長
26	"				平井幼PTA会長
27	"				平井保保護者会長

⑨ 収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金	290,000	190,000	
協賛金	190,000	190,000	
負担金			
広告料			
寄附金、他収入			
収入合計	480,000	380,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	100,000	100,000	プリンターインク等事務用品など
②食糧費	60,000	60,000	会議・行事用お茶、飲料水等
③印刷製本費	120,000	120,000	コピー、チラシ等、防水マップの印刷含む
④燃料費	0	0	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	30,000	30,000	切手等の郵送料、レンタカー借用費
⑦広告料	0	0	
⑧手数料	0	0	
⑨使用料	0	0	
⑩原材料費	0	0	
⑪委託料	0	0	
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	50,000	50,000	新プロジェクト立ち上げ講師料等
⑭保険料	20,000	20,000	行事参加者の傷害保険
小計(①)	380,000	380,000	
⑮新型コロナウイルス 感染防止対策経費	100,000	/	
小計(②)	100,000	0	
支出合計(①+②)	480,000	380,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する <input type="radio"/> 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

「オレンジカフェひらい」「プレイパーク」等例年通り開催しながら、新事業立ち上げ準備のため必要
--

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和6年1月16日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ キョクリュウガクササエアイスイシンキ
ヨウギカイ
団体名 旭竜学区支え合い推進協議会
所在地 [REDACTED]
連絡先 [REDACTED]
フリガナ ヤシロ タケトシ
代表者氏名 会長 八代 武利

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	旭竜助け合い隊推進事業
事業実施区域(小学校区)	旭竜学区
事業実施回数	新規 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 4回目 (令和3年度から)
課題	<p>【地域の実情】 当学区には高島団地という大きな市営住宅団地があり、そこには高齢で独り暮らしの人が多く、日常生活のちょっとしたことで困っている人が多い。 当学区は高齢化率が高く(39%)、高島団地以外でも、学区内には日常生活で困っている人が多い。</p> <p>【解決を図りたい課題】 病院付き添い、美容院付き添い、買い物、ごみ出し、草取り、家事手伝い、庭の片付け、庭木の剪定、電球の取り替えなどで困っている人をサポートしたい。</p> <p>【事業の必要性】 上記課題は介護保険サービスの適用にならないものが多く、介護保険制度を補完するものとして、地域でサポートする必要がある。 当事業は、令和2年9月にスタートし、3年半ほど経った現在、利用者も多く、高齢者から喜ばれ、意義のある事業となっている。</p>
事業の目的	<p>(1) 高齢者にやさしいまちの創造 (2) 高齢者の困りごとの解消 (3) 介護保険制度の補完 (4) 「いつまでも住み続けたいと思う」まちづくり (5) ボランティア精神の涵養 (6) ボランティア活動による生きがいの発見と認知症の予防</p>

	(7) 独り暮らしの高齢者の安否確認
事業の内容	<p>前記のような課題の解決と目的のため、令和2年7月、「旭竜助け合い隊」を創設し、同年9月1日から活動事業をスタートした。令和6年度は4年目に当たる。</p> <p>その事業は次のとおりである。</p> <p>病院付き添い、美容院付き添い、買い物、ごみ出し、草取り、家事手伝い、庭の片付け、庭木の剪定、電球の取り替えなどの支援を希望する場合、助け合い隊のコーディネーターへ電話をし、電話を受けたコーディネーター（4名、1週間で交代）が、登録したサポーター（27名）に電話をし、日程調整をしたうえで、要支援者をサポートするものである。</p>
期待される成果・目標	<p>【要支援者から見た場合】</p> <p>(1) 高齢者の困りごとの解消</p> <p>(2) 介護保険制度の補完</p> <p>(3) 独り暮らしの高齢者の安否確認</p> <p>【サポーターから見た場合】</p> <p>(1) ボランティア精神の涵養</p> <p>(2) ボランティア活動による生きがいの発見と認知症の予防</p> <p>(3) 活動することによる健康の保持</p>
企画などの工夫	<p>(1) 活動内容を積極的に広報している。</p> <p>令和5年11月に広報紙を発行した。3月にも発行する予定である。</p> <p>(2) 他学区から、制度説明の依頼があれば、積極的に説明に行く。</p>
協働する団体等	<p>(1) 旭竜地区社会福祉協議会 困難なケースの相談</p> <p>(2) 旭竜地区民生委員児童委員協議会 困難なケースの相談</p> <p>(3) 社会福祉法人岡山市社会福祉協議会中区事務所 研修会における講師派遣の相談、問題点の相談</p> <p>(4) 公益財団法人岡山市ふれあい公社岡山市中区地域包括支援センター高島分室 困難なケースの相談、介護保険制度を利用できるかどうかの相談 体調に問題があり放置できない場合の相談、研修会講師の派遣</p> <p>(5) 社会福祉法人昭友会 困難なケースの相談、介護保険制度を利用できるかどうかの相談</p>

事業の 情報公開	<ul style="list-style-type: none"> (1) 広報紙の発行（年2回） (2) 高島公民館だよりへの掲載 (3) 他学区への積極的なPR (4) 福祉関係会議への積極的な参加と発表
学区 地区への 広がり	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和5年11月、広報紙発行 (2) 令和6年3月、広報紙発行予定
前年度 からの 見直し 拡充点	<ul style="list-style-type: none"> (1) 現在、コーディネーターは4名である。 できれば、もう2名増やしたいが、何を依頼されるか、分からないという不安があり、なかなか増えない。できれば、女性のコーディネーターを増やしたい。 (2) 現在、サポーターは27名である。できれば、30名にしたい。 高齢、体調不良等の理由で辞めていく人もあり、なかなか増えない。
次年度 以降の 予定	<ul style="list-style-type: none"> ① 次年度以後の活動計画 旭竜助け合い隊事業を継続する。 ② 資金の確保について <input checked="" type="checkbox"/> 次年度も区づくり推進事業を申請する予定
その他 PRしたい 点	<ul style="list-style-type: none"> (1) まちづくりの一環であること。 (2) 「福祉の町・旭竜」を一層充実させるものであること。 (3) サポーターは、65歳以上の人が多く、高齢者の生きがいになり、認知症の予防になること。

事業スケジュール

月 日	活 動 内 容
4月	助け合い隊サポート事業
5月	助け合い隊サポート事業 助け合い隊会議 支え合い推進協議会
6月	助け合い隊サポート事業
7月	助け合い隊サポート事業
8月	助け合い隊サポート事業
9月	助け合い隊サポート事業
10月	助け合い隊サポート事業 広報紙発行
11月	助け合い隊サポート事業 助け合い隊会議+研修会
12月	助け合い隊サポート事業 支え合い推進協議会
1月	助け合い隊サポート事業
2月	助け合い隊サポート事業
3月	助け合い隊サポート事業 広報紙発行

事業実施メンバー

No.	申込団体での役職	氏名	年齢(歳代)	備考(加入団体等)
1	会長			学区民生委員・児童員委員協議会
2	副会長			学区連合町内会
3	〃			地区社会福祉協議会
4	委員			中島町内会
5	〃			高島一丁目町内会
6	〃			高島二丁目西町内会
7	〃			高島二丁目東町内会
8	〃			八幡東町町内会
9	〃			高島公務員住宅自治会
10	〃			学区愛育委員会
11	〃			学区老人クラブ連合会
12	〃			ふれあい広場なかしま
13	〃			いきいき広場八幡
14	〃			学区体育協会
15	〃			岡山市消防団宇野分団
16	〃			岡山市社会福祉協議会中区事務所
17	〃			〃
18	〃			岡山市中区地域包括センター高島分室
19	〃			岡山市中区保健センター
20	〃			岡山市高島公民館
21	〃			岡山市ふれあい介護予防センター
22	〃			(社福) 昭友会

令和6年度・収支予算書

◆ 収入

単位:円

項 目	決算見込み額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	63,000	72,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	16,422	67,000	
地区社会福祉協議会補助金	45,078	0	
協賛金	0	0	
雑収入	5,000	5,000	講師料
計	129,500	144,000	

◆ 支出

単位:円

項 目	決算見込み額	予 算 額	内 容
① 消耗品費	33,000	30,000	プリンターインク(6,000円)、PC用紙(2,000円) 宛名シール(2,000円)、その他の事務用品費 (20,000円)
② 食糧費	5,000	5,000	会議用お茶代(5,000円)、
③ 印刷製本費	31,000	33,000	広報紙(15,000円×2回=30,000円)、コピー 代(3,000円)
④ 通信運搬費	41,000	41,000	携帯電話通話料金(3,250円×12か月= 39,000円)、切手代(2,000円)
⑤ 保険料	18,000	33,000	ボランティア保険(18円×1,800人=32,400円 ≒33,000円)
⑥ 手数料	1,500	2,000	振込手数料(2,000円)
計	129,500	144,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。

補助金(3/4)の概算払いを	<input checked="" type="radio"/> 希望する	<input type="radio"/> 希望しない
----------------	---------------------------------------	-----------------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

令和6年度上半期の事業運営費が不足するため。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和6年1月10日

岡山市長 大森雅夫 様

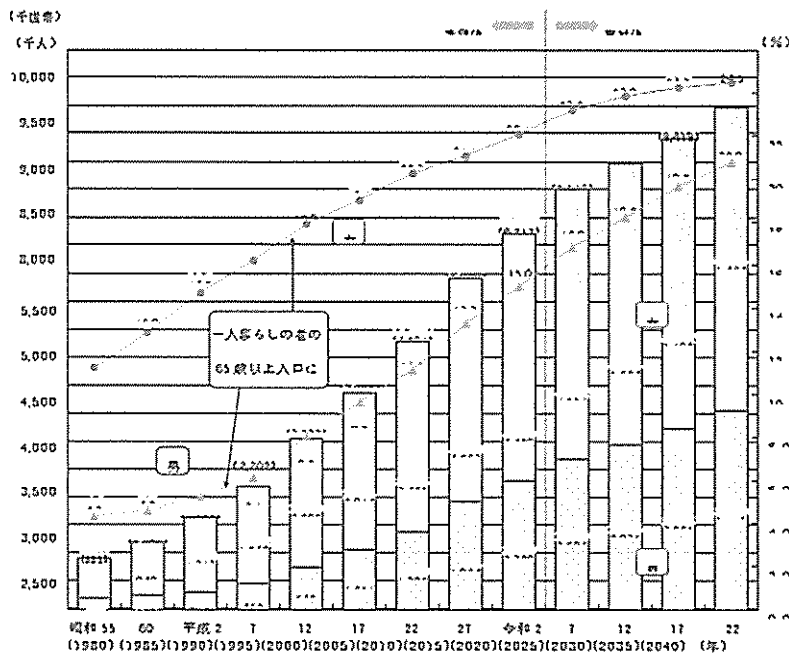
フリガナ キョクリュウ チイキミンナノイバシヨツクリジッコウイインカイ
 団体名 きょくりゅう 地域みんなの居場所づくり実行委員会
 所在地 [Redacted]
 連絡 [Redacted]
 フリガナ タキモト タカシ
 代表者 役職・氏名 会長 瀧本 孝

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他																
事業名称	きょくりゅう地域みんなの居場所づくり																
事業実施小学校区・地区	旭竜小学校・旭竜地区																
事業実施回数	<input checked="" type="radio"/> 新規 ・ <input type="radio"/> 継続 回目 / 【 年度から】																
課題	<p>■子ども達のがのびのび遊べる場所が少ない 令和3年、NPO法人まんながが旭竜小学校児童を中心に、高島中学校区の住民にアンケートを取った。旭竜小学校区には児童館も公民館もなく、子ども達のがのびのび過ごせる居場所少ないことが、アンケート結果から読み取れる。</p> <p>旧旭竜幼稚園がどのような場所になればいい</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設の種類</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童館や子育て支援センターのような施設</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>公民館のような施設</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>フリースクール</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>公園</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>高業施設</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>住宅地</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	施設の種類	割合 (%)	児童館や子育て支援センターのような施設	69	公民館のような施設	40	フリースクール	30	公園	21	高業施設	6	住宅地	1	その他	6
施設の種類	割合 (%)																
児童館や子育て支援センターのような施設	69																
公民館のような施設	40																
フリースクール	30																
公園	21																
高業施設	6																
住宅地	1																
その他	6																

■定年後の居場所と高齢者の引きこもり

図1-3-3 65歳以上の一人暮らしの高齢者の動向



資料：令和2年までは総務省「国勢調査」による人口、令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の推計(全国推計)」
 (注1)「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単独世帯」又は「一般世帯(1人)」のことを指す。
 (注2) 棒グラフ上の()内は65歳以上の一人暮らしの高齢者の男女計

内閣府が発表した令和4年版高齢社会白書によると、65歳以上の1人暮らしの高齢者は増加傾向にあり、今後もさらなる増加が見込まれている。高齢者の孤立化は当事者の健康寿命だけでなく地域全体の安全・安心を低下させる要因となるため、独居高齢者と地域をつなぎ、生きがいや役割を提供する地域の居場所の創出・拡充が喫緊の課題となる。旭竜学区の高齢化率は38%と市内トップクラスである。

事業の目的

【誰もが安全・安心して住み続けられる、まちづくり】

- ・乳幼児親子から高齢者まで、誰でも『困った』を持ち寄り、『やりたい』を実現できるような居場所をつくり、住民の孤立を未然に防ぐ。
- ・特定少数ではなく、不特定多数に開かれた居場所となるよう、誰もが訪れやすく過ごしやすい雰囲気、ルール、イベントをつくる。

■コミュニティカフェ 10月～3月

【日時】 月1回程度 9:30～12:00/14:00～16:30

【場所】 旧岡山市立旭竜幼稚園 岡山市中区中島50-1

【対象】 高齢者、一人暮らしの高齢者、小学生、中学生・高校生ボランティア、乳幼児親子、地域住民、誰でも

【内容】

- ・誰もが気軽に集える居場所『そんな感じで。』地域の住民の得意を生かした、手しごとイベントの開催。味噌造り、郷土料理、花の寄せ植えワークショップ、男性向けのコーヒードリップ講座などを予定している。
- ・周辺住民のニーズに合わせたイベントを開催する。例としては、高齢者むけスマホ講座や歌の会などを。
- ・県内の多世代交流が盛んな地域の視察を通じて、居場所の設備やスタッフの役割のほか、雰囲気づくり、ルールづくりなどのノウハウを学び、取り入れる。

■コンポスト事業

【内容】

- ・住民の一体感の創出と自主財源の確保を目的として、コンポスト事業を実施する。
- ・旧旭竜幼稚園の園庭隅にコンポストを設置。地元桃太郎公園やグラウンドの落ち葉を利用し、土作りをする。
- ・土を利用し、園の畑や花壇の整備。地域イベントでの花の販売や土の販売。
- ・コンポストは地域住民の詳しい方と一緒に、子どもたちとワークショップにて製作する。
- ・桃太郎のまち岡山コンポストも利用し、住民で勉強会を開催する。

■子育て広場 10月～3月

【日時】 月1回程度 9:30～12:00/14:00～16:30

【内容】

- ・子どもがのびのび遊べる居場所。親子向けの講座なども開催。岡山市旭竜子育て広場やNPO法人まんなかの子育て広場のノウハウを活用。
- ・親子向けの講座なども開催。例として子供向け講座や離乳食カフェなど。
- ・子ども向けの講座や離乳食カフェをコミュニティカフェの隣で開催することで多世代での交流がより深まる。

	<p>きょくりゅう 地域みんなの実行委員会</p> <p>木工ワークショップで 地域の男性が講師</p> <p>スマホ講座・歌おうの会</p> <p>SDGs <u>コンポスト</u> <u>土の活用</u> <u>コミュニティカフェ</u> <u>子ども達とワークショップ</u></p> <p>園庭の隅にコンポストを設置 ↓ 公園や幼稚園の落ち葉を利用 ↓ 1. 作った土で野菜や花の栽培 2. 地域イベント・祭りなどで、花の寄せ植え 花の種・土・ポットのセットを販売</p> <p>気軽に集える居場所 利用料 300円(飲み物、おかし付) 中学生以下は無料 (飲み物、お菓子はつかない)</p> <p>毎月しごとイベント開催(材料費を頂く) 郷土料理、味噌、うめぼし、針仕事 花の寄せ植えワークショップ</p> <p>旧旭竜幼稚園 地域の思い出が詰まった場所</p> <p>麻雀、将棋、囲碁をおく</p> <p>子育て広場 子どもがのびのび遊べる居場所 親子向けの講座など</p> <p>まんなか・旭竜子育て広場の ノウハウを活用</p> <p>越乳食講座が 一緒にできたらいいな</p> <p>一緒に交流会したい!</p> <p>コンポストは地域の得意な方と 子ども達とワークショップでつくる</p>
<p>期待される成果・目標</p>	<p>■参加者1回平均30名程度を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で顔見知りを増やし、普段の挨拶や声かけができる関係性ができ、防犯や防災につながる。 ・知らない子どもはうるさいと感じることもあるが、知っている子だと「あの子はいつも元気ね。」「今日は元気がない」と気にかける。子ども達と接点を持つことで、子どもがのびのび生活しやすい地域になる。 ・好きや得意を活かし、居場所で役割を持ち地域とつながる。年齢が高い層も出入りしやすい雰囲気を作る。
<p>企画などの工夫</p>	<p>■循環する仕組み作り 各事業を単体で行なうのではなく、コンポスト→土の活用、しごとカフェ⇄子育て広場など、循環し交流できる仕組み。</p> <p>■地域資源の活用 人、自然、施設など地域資源を使うことにより、身近に感じてもらい参加のハードルを下げる。しごとカフェは地域の得意を持つ人に講師としてきてもらう。</p> <p>■多世代交流+子育て広場 子育て広場と多世代交流の場所を一緒に置くことにより、より自然で親密な交流が可能。</p>

協働する団体等	<p>○市域や近隣の子ども会／広報やスタッフ</p> <p>○旭竜学区連合町内会／広報・地域の相談役</p> <p>○旭竜学区安全・安心ネットワーク／広報・地域の相談役</p> <p>○老人会／広報</p> <p>○公民館／広報・地域の相談・運営などの相談</p> <p>○NPO法人まんなか／SNSやホームページなどでの広報、子育て関連の専門家への講座依頼、運営スタッフの確保</p>
事業の情報公開	<p>○活動頻度の低い内は、NPO法人まんなかのSNSやホームページを利用し発信していく。</p> <p>来年度以降、イベント頻度や広報の頻度を見ながら、Instagramの開設を検討。</p> <p>○近隣小学校、中学校、町内回覧板、公民館などでのチラシの配布。</p> <p>○民間子育て団体のネットワークにて、各団体へのチラシ設置。参加者に配布をお願いします。</p>
学区地区への広がり	<p>※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高島公民館での情報発信を通じて、高島中学校区全域への周知を図る。 ・旭竜小学校（児童145名）校区の隣は、児童数1000人を超える高島小学校であり、乳幼児親子や子どもの遊び場については同じ課題がある。 ・「ボランティアバッジ」コンポストや施設整備、子どもの見守りなどで協力していただくボランティアの方にはボランティア缶バッジを配布し住民参加を見える化する。これは今までの地域活動の中で、自分の地域貢献が目に見える嬉しい、という意見からの発案である。カバンなどに付けられるバッジは、広告にもなる。
前年度からの見直し拡充点	<p>※継続事業で申請される場合は、<u>前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。</u></p>

<p>次年度以降の予定</p>	<p>① 次年度以後の活動計画 【2年目以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティカフェ、コンポスト、子育て広場の継続 ○マルシェや子ども祭りなどの新規イベント開催 ○旧旭竜幼稚園が使用不可になった場合はコミュニティーハウスで活動を展開 家庭用コンポストを利用しての事業継続 ○一年目の活動に携わった人が、次年度新規加入の実施メンバーや地域住民への説明会を開く。
	<p>② 資金の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/>次年度も区づくり推進事業を申請する予定 <input type="checkbox"/> () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 <p>資金確保の具体的な方策：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本は寄付や事業収入の拡大などだが、2年目から ESD 団体登録や他助成金でのコンポストの維持なども検討する。
<p>その他PRしたい点</p>	<p>住民の思い入れのある旧旭竜幼稚園という休眠資源を活かし、地域の中心になる居場所を開設したい。町内会のネットワークを活かし、町内の団体を巻き込む形で、多世代交流の拠点にできればと考えている。実施の部分は、民間子育て団体の知恵と人材を利用し、乳幼児子育て中のスタッフ中心に子育て当事者目線に立った活動にする。</p>

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ事業・・・視察に向けての会議 ・コンポスト事業・・・情報収集 ・子育て広場事業・・・会議
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ事業・・・視察 ・コンポスト・・・有識者へのオファー、高島音楽祭での花の販売 ・子育て広場事業・・・会議
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ事業・・・視察の振り返り ・コンポストワークショップ開催に向けての会議、チラシ制作・配布 ・子育て広場・・・会議
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ事業・・・開催に向けての会議 ・コンポスト・・・コンポスト製作ワークショップ開催 ・子育て広場・・・会議
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ事業・・・開催に向けての会議、チラシ制作 ・コンポスト・・・小学生向けコンポストを見てみよう！（仮） ・子育て広場・・・会議
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ事業・・・開催に向けての会議、チラシ配布、プレオープン（地域住民で話し合い） ・コンポスト・・・落ち葉集め ・子育て広場・・・会議
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ事業・・・月1開催 ・コンポスト・・・まんなかマルシェでの花の販売 ・子育て広場・・・月1開催
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ事業・・・月1開催 ・コンポスト・・・落ち葉集め ・子育て広場・・・月1開催
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ事業・・・月1開催 ・コンポスト・・・落ち葉集め ・子育て広場・・・月1開催
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ事業・・・月1開催 ・コンポスト・・・会議・手入れ ・子育て広場・・・月1開催
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ事業・・・月1開催 ・コンポスト・・・会議・手入れ ・子育て広場・・・月1開催
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ事業・・・月1開催 ・コンポスト・・・会議・手入れ ・子育て広場・・・月1開催

事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	会長				旭竜学区連合町内 会会長
2	副会長兼 事務局長				NPO法人まんな か
3	副会長				NPO法人まんな か理事長
4	会計				NPO法人まんな か
5	監査				旭竜学区民生委員
6					八幡町内会長
7					中島町内会
8					
9					
10					中島町内会
11					
12					中島町内会
13					ふれあい広場中島
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					

収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容
岡山市補助金		307,200	
実施団体負担金			
参加者負担金		25,000	
協賛金			
寄附金、他収入		51,800	
収入合計	0	384,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費		20,000	コピー用紙・インク
		20,000	カフェ食器
		50,000	文具、日用品、カラーボックスなど
②食糧費		5,000	視察お弁当代(5人を予定)
		10,000	会議お茶・コーヒー代
③印刷製本費		30,000	2500枚×2回
④燃料費		10,000	視察ガソリン代
⑤光熱水費		3,000	
⑥通信運搬費		2,000	切手代
⑦広告料		20,000	ボランティアバッジ製作費
⑧手数料		3,000	銀行振込、代引き手数料
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費		60,000	鉢植え材料
		20,000	コンポスト材料
		50,000	手仕事イベント材料費
⑪委託料		20,000	チラシ、デザイン資料等(年間)
⑫工事請負費			
⑬報償費		10,000	視察謝礼
		20,000	コンポスト講師
⑭保険料		6,000	1000円×6ヶ月
⑮旅費		20,000	レンタカー
		5,000	高速代
小計(①)	0	384,000	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費		/	
小計(②)	0	0	
支出合計(①+②)	0	384,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	○希望する ・ 希望しない
----------------	---------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

新規立ち上げのため、資金がない
